

25～35 歳の牛肉に対する嗜好、購買行動に関する実態調査

引地 宏二（神奈川県農業技術センター畜産技術所）

## 1. 背景・目的

国産牛肉の消費は、輸入自由化、BSE問題、牛肉偽装事件、口蹄疫や最近では腸管出血性大腸菌O111等の食中毒事件などの影響で、長期的な消費の低迷が続いている。このような厳しい環境の中で、国産牛肉の消費を増やしていくためには、消費者ニーズに合った牛肉を生産し、提供するための仕組みを作ることが重要であり、その基点となる消費者の牛肉に対するニーズを把握することが必要である。

本研究で、特に25～35歳に注目したのは、1991年4月の牛肉輸入自由化当時、10歳前後にあたり、自由化後、家庭内での牛肉消費量の中で10歳代の牛肉消費量が顕著に増加したという、石橋の報告[1]した年代と一致することからである。この報告では、総務省の「家計調査」個票から年齢階層別消費量を推計し、1983年と1993年の比較で、10代の1カ月牛肉消費量が約150g増加しており、他の年代に比べて顕著に増加したことを指摘している。

また東北、関東、近畿、九州の4地域についての同様な比較では、東北、関東ですべての年齢階層の消費量が増加し、特に10代の消費量が顕著に増加したことを報告している。一方、食習慣として古くから関東に比べてより多く牛肉を消費している近畿では10代の消費量の顕著な増加は認められなかったことも報告している。このように、牛肉の輸入自由化後の年代および地域間で家庭内での牛肉消費動向に違いが認められている。

そこで、本研究では輸入自由化から20年経過し、当時10代前後だった25～35歳を中心に世代間での牛肉に対する嗜好、購買、消費行動を比較するとともに、輸入自由化前後では異なる消費動向だった関東と関西の比較を通して、これから社会や家庭の中核となる25～35歳の消費者ニーズを解明し、今後の肉牛生産の方向性について生産者へ提示していくことを目的とする。

[1]石橋喜美子『家計における食料消費構造の解明-年齢階層別および世帯類型別アプローチによる-』農林統計協会、2006、pp. 45-73。

## 2. 調査方法

### (1) インターネットアンケート

#### 1) 牛肉の区分

インターネットアンケート調査の予備調査として、調査対象とする20代、30代の牛肉に対する考え方、購買方法、消費行動の外観を知るために、当所所属の20、30代の男性5名、女性5名に対し牛肉に関してグループインタビューを行い、インタビュー内容について嗜好、購買、消費行動に分類、整理した。その結果「高級」「非日常」の牛肉として霜降り牛肉、「日常」の牛肉として赤身の多い牛肉に分かれており、また国産、外国産の違いを意識する会話があったことから、牛肉を黒毛和牛肉（霜降りの多い牛肉）、国産牛肉（赤身の多い牛肉）、外国産牛肉の3区分とした。

なお、以降本文中では黒毛和牛肉（霜降りの多い牛肉）を「和牛」、国産牛肉（赤身の多い牛肉）を「国産牛」、外国産牛肉を「外国産牛」と表記する。

#### 2) 調査対象者の割付及び人数

調査対象者は、インターネットアンケート調査会社の登録モニターから年代は25～65歳を25～35歳（35歳以下という）、36～45歳（45歳以下という）、46～55歳（55歳以下という）、56～65歳（65歳以下という）で4区分、地域は関東、関西で都府県別に

関東1都2県（東京都、神奈川県、埼玉県）、関西2府1県（大阪府、兵庫県、京都府）で6区分とし、これを男性、女性均等に割付（2区分）、各条件を満たす合計48区分を各50名を目処にデータを回収した。

### 3) 調査実施時期、回収数

調査実施時期：平成23年12月中旬

回収数：2,496名

## 3. 結果及び考察

### (1) 回答者属性

回収した回答者属性は図1～8のとおり各1区分52名で割付設定どおりであった。

回答者属性

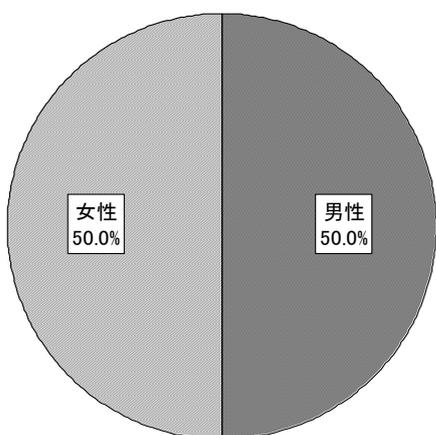


図1 性別

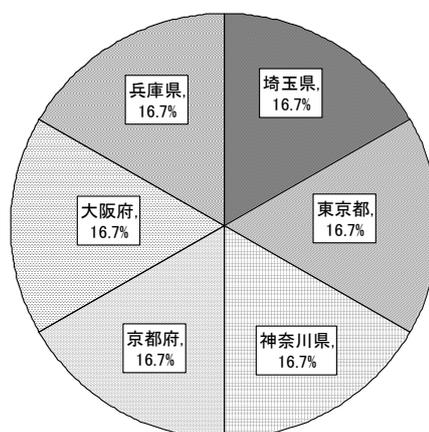


図2 居住地域

N=2,496

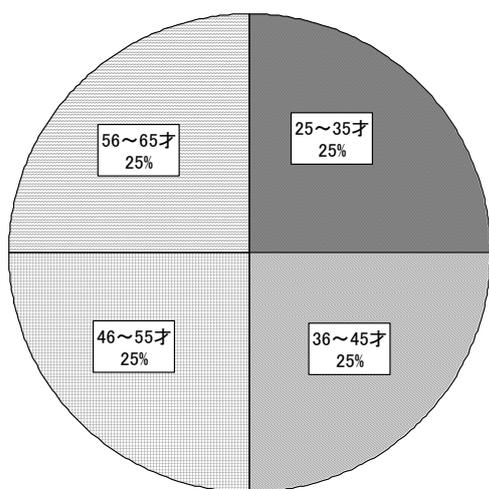


図3 年代

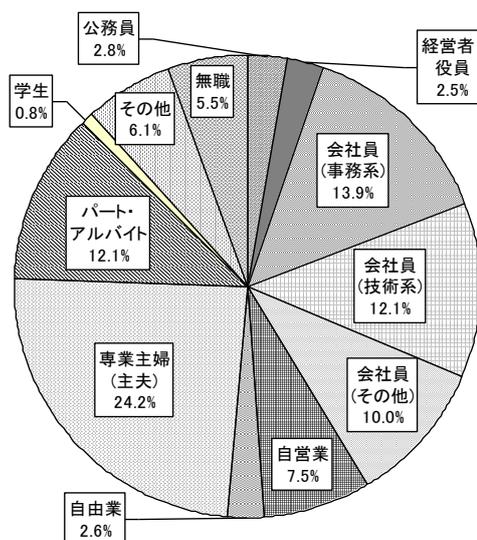


図4 職業

N=2,496

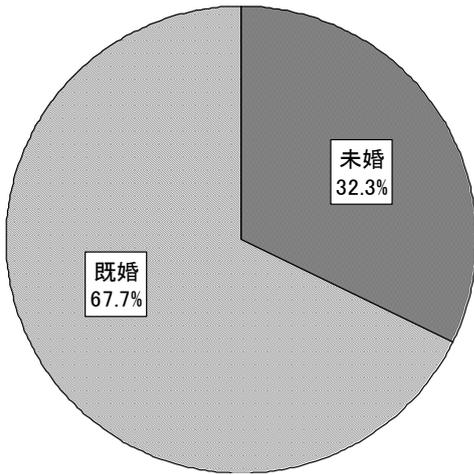


図5 未既婚

N=2,496

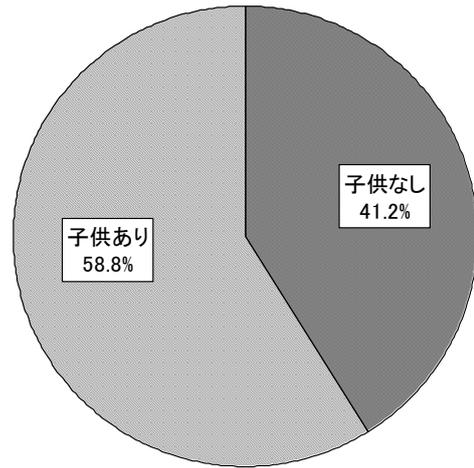


図6 子供の有無

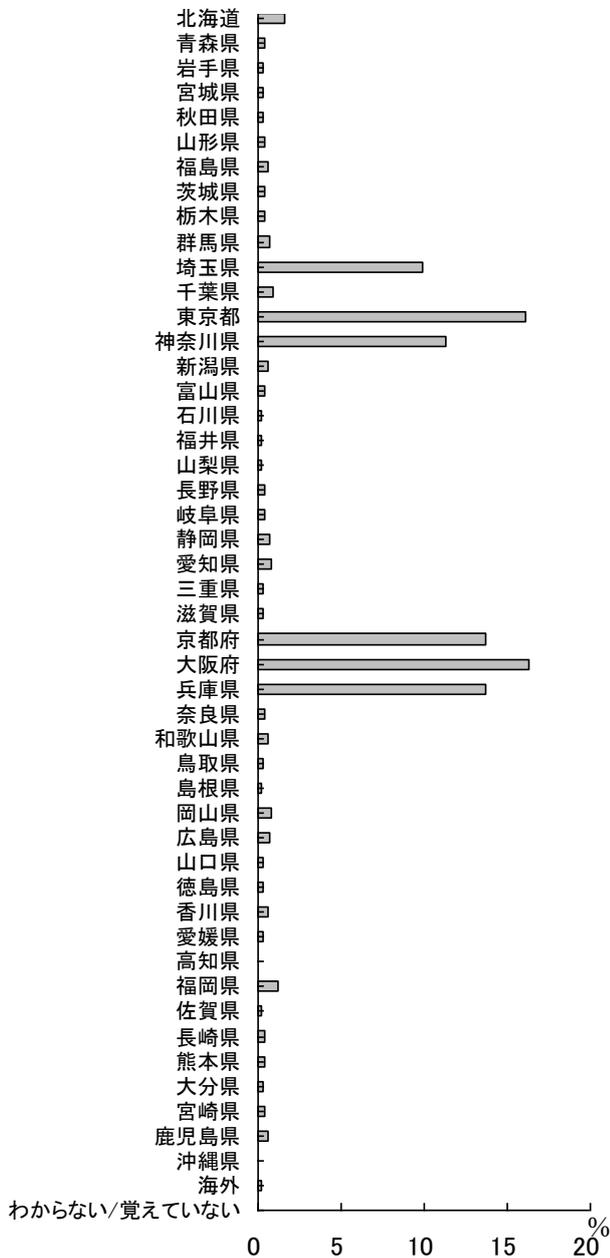


図7 出身都道府県

N=2,496

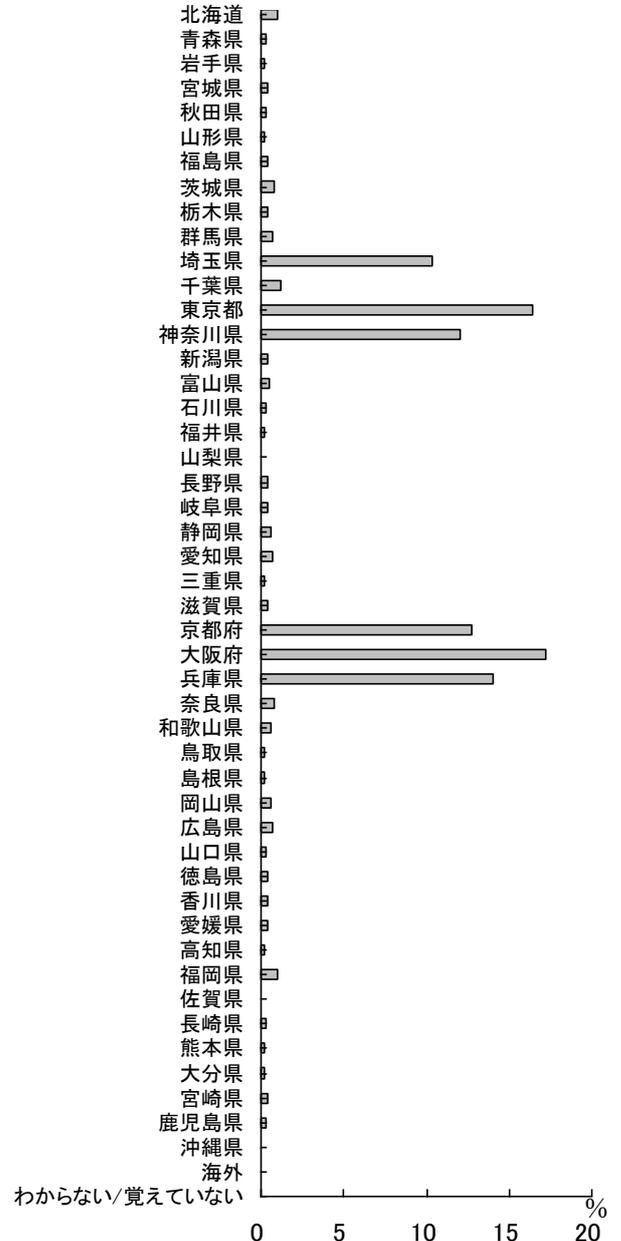


図8 主に育った都道府県

## (2) 牛肉、肉牛に関する知識

牛肉、肉牛に関する知識についての質問で、「知っている」が30%以上の項目は、「牛肉の品質は、霜降りの度合いや色など5段階で評価されA5が最高である」「牛肉の部位に適した料理方法がある」の2項目であった(図9)。年代間では35歳以下が65歳以下より牛肉、肉牛に関して、知っている回答者が少なかった。また、地域間では、関東で「牛肉の品質は、霜降りの度合いや色など5段階で評価されA5が最高である」についてより多く認知していた(表1)。

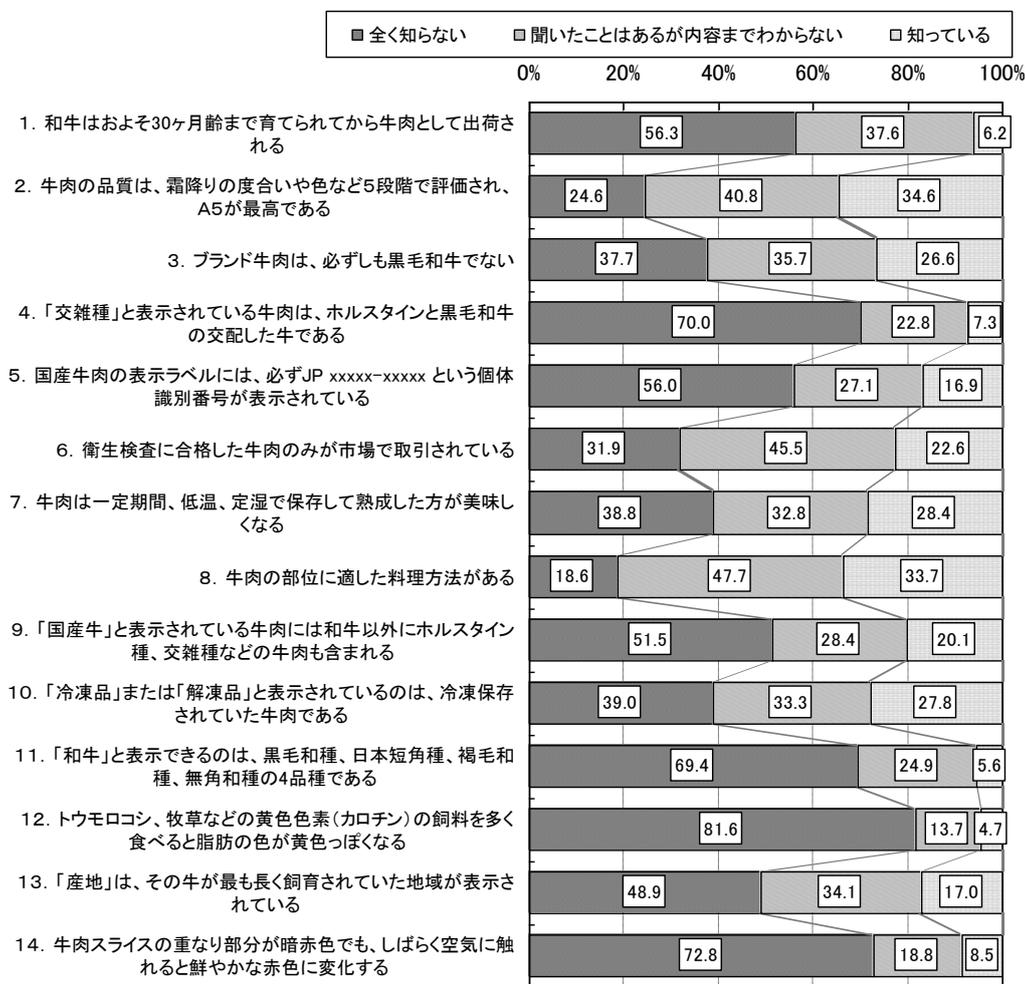


図9 牛肉、肉牛に関する知識

N=2,496

表1 地域、年代間の牛肉、肉牛に関する知識についてのクロス表(度数)

| 設問内容   | 地域    | 年代  |     |       |       | 合計  |       |       |
|--|-------|-----|-----|-------|-------|-----|-------|-------|
|  |       | 関東  | 関西  | 35歳以下 | 45歳以下 |     | 55歳以下 | 65歳以下 |
| 2. 牛肉の品質は、霜降りの度合いや色など5段階で評価され、A5が最高である         | 知っている | 464 | 400 | 210   | 215   | 226 | 213   | 864   |
| 6. 衛生検査に合格した牛肉のみが市場で取引されている                    | 知っている | 296 | 268 | 123   | 132   | 142 | 167   | 564   |
| 7. 牛肉は一定期間、低温、定湿で保存して熟成した方が美味しくなる              | 知っている | 358 | 352 | 112   | 170   | 207 | 221   | 710   |
| 8. 牛肉の部位に適した料理方法がある                            | 知っている | 420 | 420 | 169   | 206   | 215 | 250   | 840   |
| 9. 「国産牛」と表示されている牛肉には和牛以外にホルスタイン種、交雑種などの牛肉も含まれる | 知っている | 254 | 248 | 105   | 105   | 145 | 147   | 502   |
| 10. 「冷凍品」または「解凍品」と表示されているのは、冷凍保存されていた牛肉である     | 知っている | 344 | 349 | 151   | 166   | 175 | 201   | 693   |

\* 「知っている」の回答者が有意に多かった項目を表示

N=2,496

\* 地域間、年代間でχ<sup>2</sup> 乗検定、調整済み残差分析の結果、有意に大きいセルは網掛け太字ゴシック数字、有意に小さいセルは網掛け数字として示した。

### (3) 牛肉に対するイメージ

牛肉に対するイメージについて回答者が「やや思う」「そう思う」を合わせて50%以上だった項目は、「和牛」で「脂身に風味がある」「食べ過ぎによる健康への影響が気になる」、「国産牛」「外国産牛」で「価格が手頃である」「日常的な食材である」であった。このことから「和牛」は脂身のおいしさと同時にその脂身に対する健康への影響をイメージし、「国産牛」「外国産牛」は手頃な価格で日常的な食材をイメージしていた。逆に「全く思わない」「あまり思わない」を合わせて50%以上だった項目は、「和牛」で「カロリーが低い」「価格が手頃である」「日常的な食材である」に対するイメージがなかった。「国産牛」「外国産牛」では該当する項目はなかった(図10~12)。

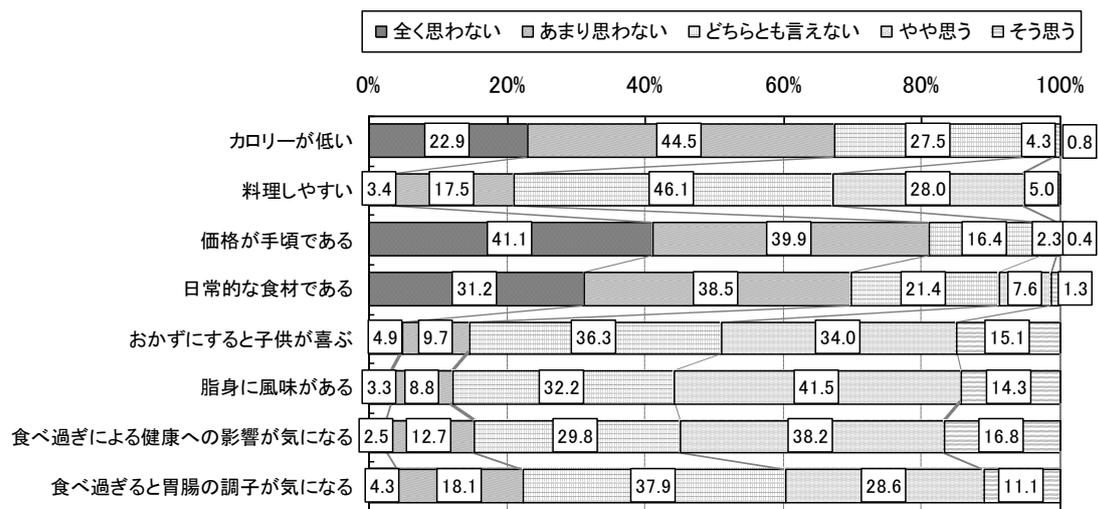


図 10 黒毛和牛肉(霜降りの多い牛肉)の消費者イメージ N=2,496

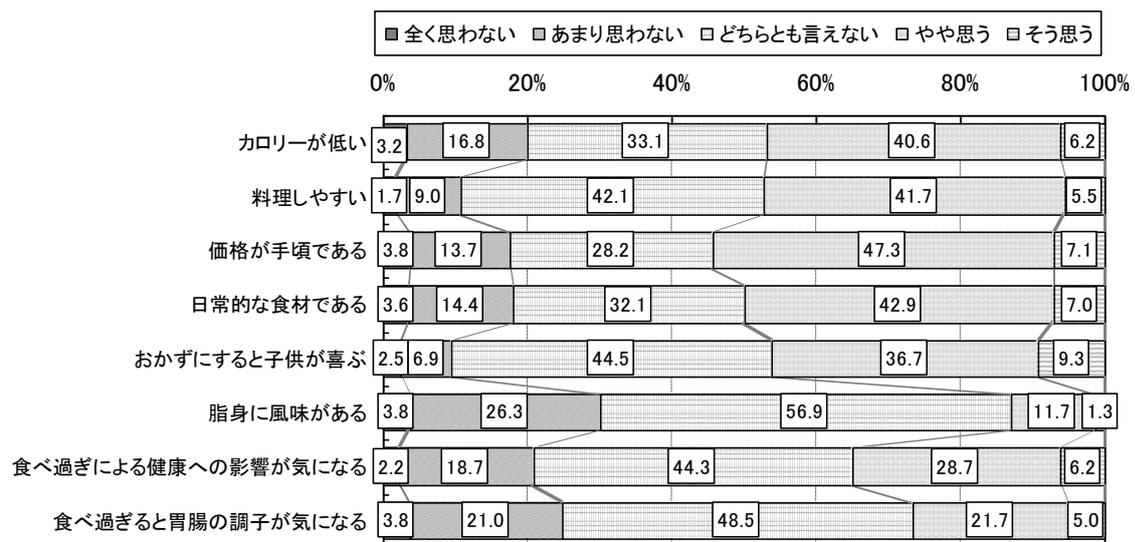


図 11 国産牛肉(赤身の多い牛肉)の消費者イメージ N=2,496

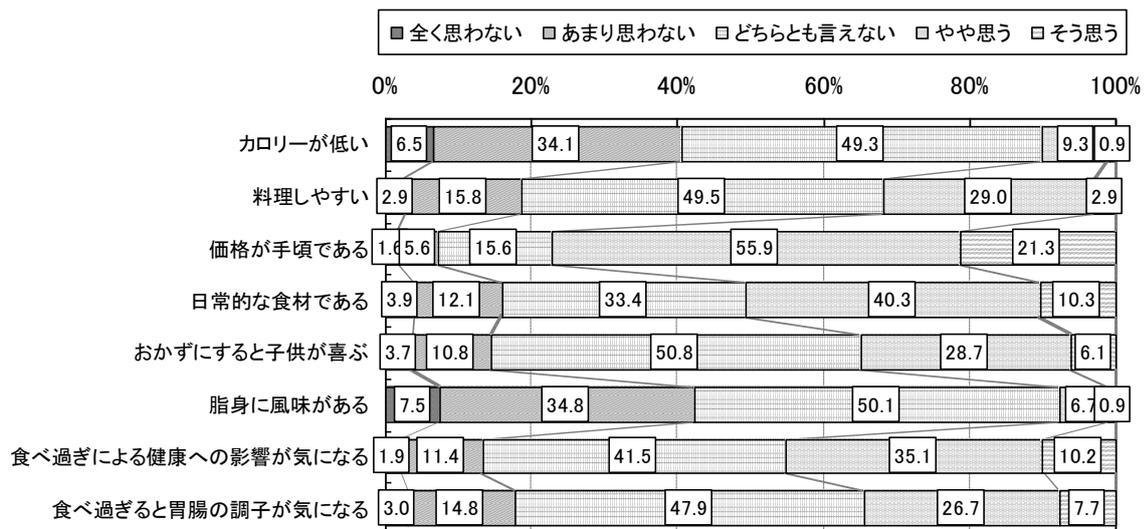


図 12 外国産牛肉の消費者イメージ

N=2,496

牛肉のイメージについて、「全く思わない (-2)」から「そう思う (+2)」とし、地域、年代間で評価値を比較した (表 2)。

年代間で 35 歳以下の評価値が有意に高かった項目は、「和牛」で「食べ過ぎると胃腸の調子が気になる」、「外国産牛」で「料理しやすい」であり、「和牛」に対するネガティブなイメージと「外国産牛」に対する身近な食材というイメージを多く持っていた。また、地域間では、関西で「和牛」「国産牛」「外国産牛」とも食べ過ぎによる健康への影響に関する項目で有意に高かったが、「国産牛」にはさらに「料理しやすい」「日常的な食材である」「おかずにする子供が喜ぶ」が有意に高く、普段利用する牛肉が「国産牛」であると考えられた。一方、関東では「外国産牛」に対して「日常的な食材」「おかずにする子供が喜ぶ」が有意に高く、日常の牛肉のイメージが関西で「国産牛」、関東で「外国産牛」と考えられた。

表 2 地域間、年代間の牛肉に関するイメージ(評価値)

|       | 地域                 |                   | 年代                |                    |                    |                    |                   |
|-------|--------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
|       | 関東                 | 関西                | 35歳以下             | 45歳以下              | 55歳以下              | 65歳以下              |                   |
| 黒毛和牛  | 料理しやすい             | 0.12              | 0.15              | -0.03 <sup>c</sup> | 0.10 <sup>b</sup>  | 0.15 <sup>b</sup>  | 0.32 <sup>a</sup> |
|       | 食べ過ぎによる健康への影響が気になる | 0.48 <sup>b</sup> | 0.60 <sup>a</sup> | 0.48               | 0.54               | 0.55               | 0.59              |
|       | 食べ過ぎると胃腸の調子が気になる   | 0.17 <sup>b</sup> | 0.31 <sup>a</sup> | 0.27 <sup>a</sup>  | 0.33 <sup>a</sup>  | 0.25 <sup>ab</sup> | 0.12 <sup>b</sup> |
| 国産牛肉  | カロリーが低い            | 0.31              | 0.28              | 0.12 <sup>c</sup>  | 0.26 <sup>b</sup>  | 0.32 <sup>b</sup>  | 0.49 <sup>a</sup> |
|       | 料理しやすい             | 0.37 <sup>b</sup> | 0.43 <sup>a</sup> | 0.45               | 0.40               | 0.36               | 0.40              |
|       | 価格が手頃である           | 0.37              | 0.43              | 0.33 <sup>b</sup>  | 0.34 <sup>b</sup>  | 0.45 <sup>ab</sup> | 0.48 <sup>a</sup> |
|       | 日常的な食材である          | 0.28 <sup>b</sup> | 0.43 <sup>a</sup> | 0.36               | 0.32               | 0.31               | 0.42              |
|       | おかずにする子供が喜ぶ        | 0.40 <sup>b</sup> | 0.47 <sup>a</sup> | 0.45               | 0.44               | 0.40               | 0.44              |
|       | 食べ過ぎによる健康への影響が気になる | 0.15 <sup>b</sup> | 0.21 <sup>a</sup> | 0.14               | 0.20               | 0.23               | 0.15              |
| 外国産牛肉 | 料理しやすい             | 0.16              | 0.10              | 0.21 <sup>a</sup>  | 0.15 <sup>ab</sup> | 0.10 <sup>ab</sup> | 0.07 <sup>b</sup> |
|       | 日常的な食材である          | 0.46 <sup>a</sup> | 0.36 <sup>b</sup> | 0.43               | 0.42               | 0.40               | 0.39              |
|       | おかずにする子供が喜ぶ        | 0.26 <sup>a</sup> | 0.19 <sup>b</sup> | 0.24               | 0.23               | 0.20               | 0.24              |
|       | 食べ過ぎによる健康への影響が気になる | 0.36 <sup>b</sup> | 0.45 <sup>a</sup> | 0.42               | 0.43               | 0.39               | 0.38              |
|       | 食べ過ぎると胃腸の調子が気になる   | 0.17 <sup>b</sup> | 0.26 <sup>a</sup> | 0.21               | 0.24               | 0.23               | 0.17              |

\* 各項目の平均値がプラスで地域、年代間で有意差があった項目を表示

N=2,496

\* 各設問毎に地域間、年代間の異符号間で有意差(p<0.05) 年代間は分散分析と Tukey の多重比較、地域間は U 検定

#### (4)牛肉の購買頻度

「和牛」の購買頻度は「ほとんど買わない」「全く買わない」で約70%を占め、「2週間に1回」以上の購買頻度は約11%であった。同様に「国産牛」では、36%、37%でほとんど購入しない割合と日常的に購入する割合がほぼ同数であった。「外国産牛」では、44%、35%で「国産牛」に比べてほとんど購入しない割合が多かった(図13)。

牛肉の購買頻度を「月に1回ぐらい」を1point、「2週間に1回ぐらい」2.1point、「週に1~2回」6.4point、「週に3~4回」15point、「ほぼ毎日」30point、「ほとんど買わない」0.3point、「全く買わない」0pointと数値化して、年代間で比較すると35歳以下で全ての牛肉の購買頻度が有意に低く、55歳以下で「外国産牛」の購買頻度が有意に高かった。また、地域間では関西で「和牛」「国産牛」の購買頻度が有意に高く、特に「国産牛」の購買頻度が2.13pointで「2週間に1回」以上購入する日常的な食材であることが確認された。「外国産牛」については地域間の購買頻度で有意差は認められなかった(表3)。

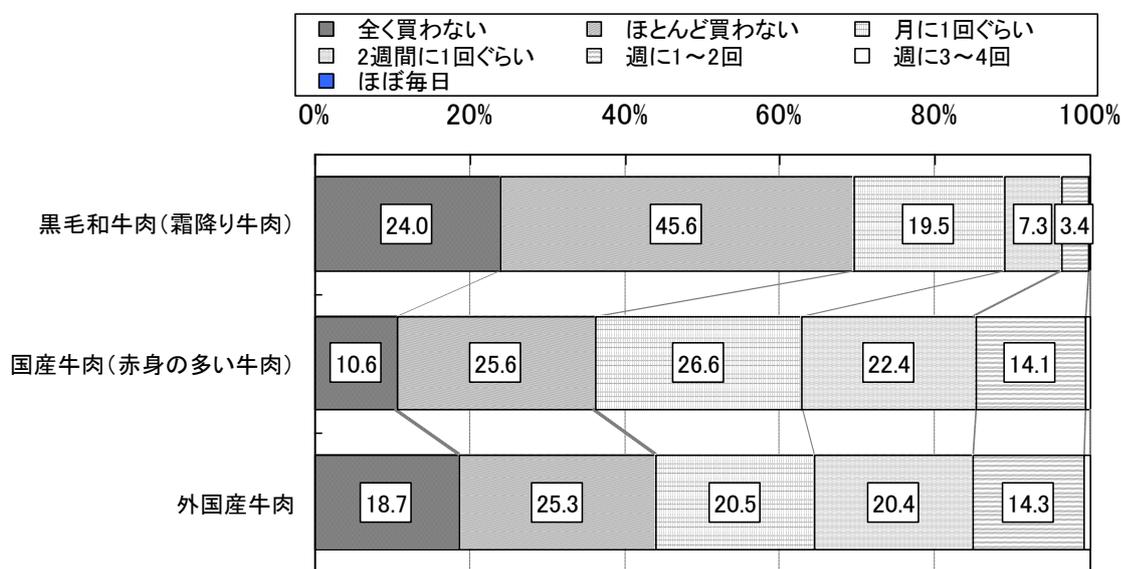


図13 牛肉の購買頻度

N=2,496

表3 地域、年代間の牛肉の購買頻度(point)

|               | 地 域               |                   | 年 代               |                    |                   |                    |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|--------------------|
|               | 関東                | 関西                | 35歳以下             | 45歳以下              | 55歳以下             | 65歳以下              |
| 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.51 <sup>b</sup> | 0.73 <sup>a</sup> | 0.44 <sup>b</sup> | 0.45 <sup>b</sup>  | 0.77 <sup>a</sup> | 0.82 <sup>a</sup>  |
| 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 1.39 <sup>b</sup> | 2.13 <sup>a</sup> | 1.44 <sup>b</sup> | 1.51 <sup>b</sup>  | 1.97 <sup>a</sup> | 2.12 <sup>a</sup>  |
| 外国産牛肉         | 1.65              | 1.70              | 1.43 <sup>b</sup> | 1.72 <sup>ab</sup> | 1.83 <sup>a</sup> | 1.73 <sup>ab</sup> |

\*各設問毎に地域間、年代間の異符号間で有意差(p<0.05)、年代間は分散分析とTukeyの多重比較、地域間はU検定

N=2,496

### (5)牛肉の購買先割合

牛肉の購買先は、他の生鮮食料品と同じようにスーパーが77%でほとんどであった。以下、専門小売店、生協(共同購入、個配、ネット)、生協(店舗)、百貨店と続いていた(図14)。年代間では、35歳以下がスーパーでの購買割合が多く、専門小売店、百貨店は65歳以下が多かった。地域間では、スーパー(店舗)は関東で多く、専門小売店、生協(店舗)は関西でより多かった(表4)。

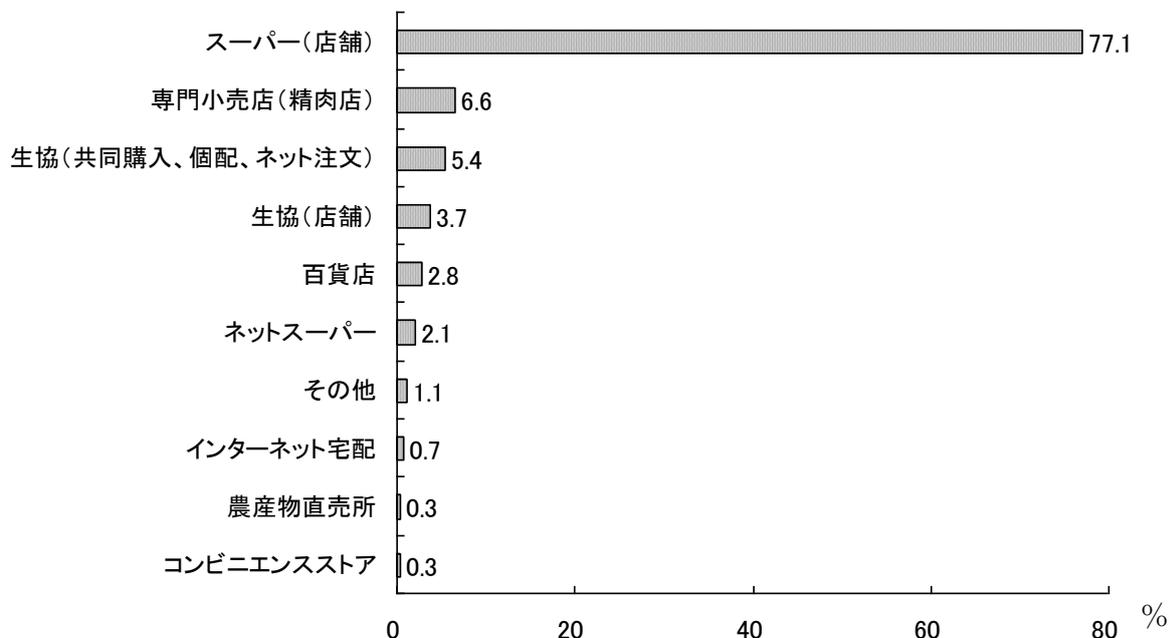


図14 牛肉の購買先割合

N=2,373

表4 地域、年代別の牛肉の購買先割合(%)

|                                | 地 域               |                   | 年 代               |                    |                   |                   |
|--------------------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|-------------------|-------------------|
|                                | 関東                | 関西                | 35歳以下             | 45歳以下              | 55歳以下             | 65歳以下             |
| スーパー(店舗)                       | 78.1 <sup>a</sup> | 76.0 <sup>b</sup> | 82.9 <sup>a</sup> | 79.6 <sup>ab</sup> | 74.5 <sup>b</sup> | 71.5 <sup>b</sup> |
| 専門小売店(精肉店)                     | 5.4 <sup>b</sup>  | 7.7 <sup>a</sup>  | 4.8 <sup>b</sup>  | 6.4 <sup>ab</sup>  | 6.9 <sup>ab</sup> | 8.2 <sup>a</sup>  |
| 生協(店舗)                         | 2.6 <sup>b</sup>  | 4.8 <sup>a</sup>  | 3.2               | 3.2                | 3.8               | 4.7               |
| 農産物直売所                         | 0.3               | 0.3               | 0.2               | 0.4                | 0.3               | 0.5               |
| 百貨店                            | 2.8               | 2.7               | 1.8 <sup>bc</sup> | 1.6 <sup>c</sup>   | 3.1 <sup>ab</sup> | 4.4 <sup>a</sup>  |
| ネットスーパー<br>(イオン、イトーヨーカドー、西友など) | 2.3               | 1.9               | 1.3               | 2.6                | 2.3               | 2.1               |
| 生協(共同購入、個配、ネット注文)              | 6.0               | 4.7               | 4.3 <sup>b</sup>  | 3.8 <sup>b</sup>   | 7.3 <sup>a</sup>  | 5.8 <sup>ab</sup> |
| その他インターネット宅配<br>(オイシックス、楽天など)  | 0.7               | 0.6               | 0.4               | 0.6                | 0.8               | 0.8               |
| コンビニエンスストア                     | 0.3               | 0.3               | 0.3               | 0.3                | 0.3               | 0.3               |

\* 各設問毎に地域間、年代間の異符号間で有意差(p<0.05)、年代間は分散分析とTukeyの多重比較、地域間はU検定

N=2,373

## (6) 普段(日常)購入する牛肉の産地

普段(日常)購入する牛肉の産地については、「国産(赤身の多い牛肉)」38%で最も多く、次に「国産・外国産は気にしない」22%、「外国産牛」17%、「国産(霜降り牛肉)」9%であった(図15)。年代間では、35歳以下で「牛肉は自分で購入しない」が多く、65歳以下では「国産(赤身の多い牛肉)」が特に多かった。また地域間では、関西で「国産(赤身の多い牛肉)」が多く、関東で「外国産牛肉」や「国産、外国産は気にしない」「牛肉は自分で購入しない」が多かった(表5)。

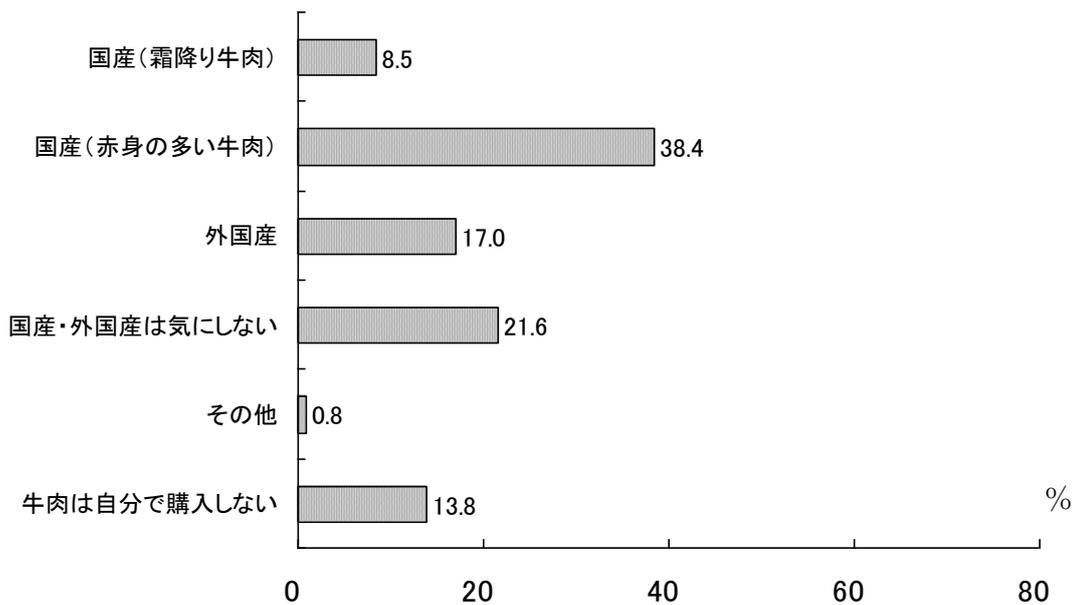


図15 普段購買する牛肉の産地(割合)

N=2,496

表5 普段購買する牛肉の産地クロス表(度数)

|              | 地域   |      | 年代    |       |       |       | 合計    |
|--------------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|
|              | 関東   | 関西   | 35歳以下 | 45歳以下 | 55歳以下 | 65歳以下 |       |
| 国産(霜降り牛肉)    | 101  | 110  | 26    | 46    | 69    | 70    | 211   |
| 国産(赤身の多い牛肉)  | 393  | 565  | 223   | 231   | 226   | 278   | 958   |
| 外国産牛肉        | 251  | 174  | 105   | 120   | 106   | 94    | 425   |
| 国産・外国産は気にしない | 291  | 248  | 148   | 138   | 134   | 119   | 539   |
| 牛肉は自分で購入しない  | 203  | 141  | 119   | 83    | 81    | 61    | 344   |
| その他          | 9    | 10   | 3     | 6     | 7     | 3     | 19    |
| 合計           | 1248 | 1248 | 624   | 624   | 623   | 625   | 2,496 |

\* 地域間、年代間で $\chi^2$  二乗検定、調整済み残差分析の結果、有意に大きいセルは網掛け太字ゴシック数字、有意に小さいセルは網掛け数字として示した。

(7) 普段(日常)購入する牛肉の「用途」

普段(日常)購入する牛肉の「用途」については、「切り落とし(こま切れ)」74%で最も多く、次に、「焼肉用」48%、「カレー・シチュー用」46%であった(図16)。年代間では、35歳以下で「ステーキ用」「焼き肉用」「しゃぶしゃぶ用」「すき焼用」の購入者が少なく、地域間では「ステーキ用」は関東で多く購入され、「カレー・シチュー用」「すき焼用」は関西で多く購入される傾向であった(表6)。

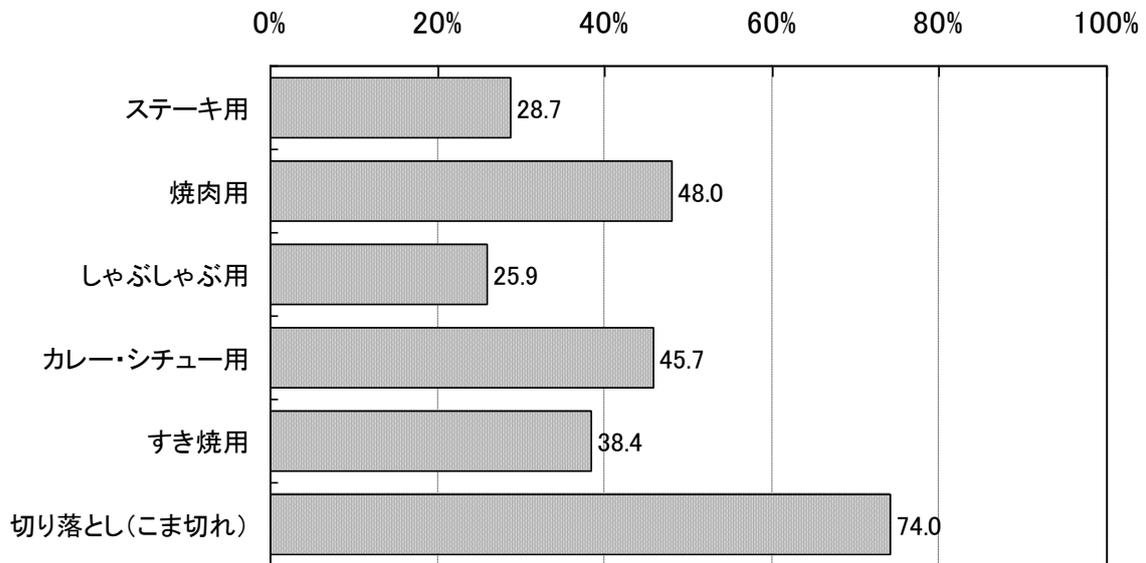


図16 普段購入する牛肉の「用途」(割合)

N=2,152

表6 地域、年代別の普段購入する牛肉「用途」のクロス表(度数)

|           | 購入<br>有無 | 地 域        |            | 年 代        |            |            |            | 合計    |
|-----------|----------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
|           |          | 関東         | 関西         | 35歳<br>以下  | 45歳<br>以下  | 55歳<br>以下  | 65歳<br>以下  |       |
| ステーキ用     | 無        | 721        | <b>814</b> | <b>386</b> | <b>411</b> | 361        | 377        | 1,535 |
|           | 有        | <b>324</b> | 293        | 119        | 130        | <b>181</b> | <b>187</b> | 617   |
| 焼肉用       | 無        | 549        | 570        | <b>294</b> | 298        | 267        | 260        | 1,119 |
|           | 有        | 496        | 537        | 211        | 243        | 275        | <b>304</b> | 1,033 |
| しゃぶしゃぶ用   | 無        | 782        | 812        | <b>396</b> | 417        | 403        | 378        | 1,594 |
|           | 有        | 263        | 295        | 109        | 124        | 139        | <b>186</b> | 558   |
| カレー・シチュー用 | 無        | <b>594</b> | 575        | 257        | <b>321</b> | 299        | 292        | 1,169 |
|           | 有        | 451        | <b>532</b> | 248        | 220        | 243        | 272        | 983   |
| すき焼用      | 無        | <b>670</b> | 656        | <b>372</b> | <b>388</b> | 315        | 251        | 1,326 |
|           | 有        | 375        | <b>451</b> | 133        | 153        | <b>227</b> | <b>313</b> | 826   |
| 切り落とし     | 無        | 278        | 282        | 115        | 137        | 138        | 170        | 560   |
|           | 有        | 767        | 825        | 390        | 404        | 404        | 394        | 1,592 |

\* 地域間、年代間でχ<sup>2</sup> 二乗検定、調整済み残差分析の結果、有意に大きいセルは網掛け太字ゴシック数字、有意に小さいセルは網掛け数字として示した。

(8) 普段(日常)購入する牛肉の「部位」

普段(日常)購入する牛肉の「部位」については、「ロース」「肩ロース」「モモ」「バラ」が40%以上、「ヒレ」「肩」が20%以上であった(図17)。年代間では、35歳以下で「サーロイン」「ヒレ」の購入者が少なかった。また地域間では関東で「サーロイン」が多く、関西では「バラ」が多く購入されていた(表7)。

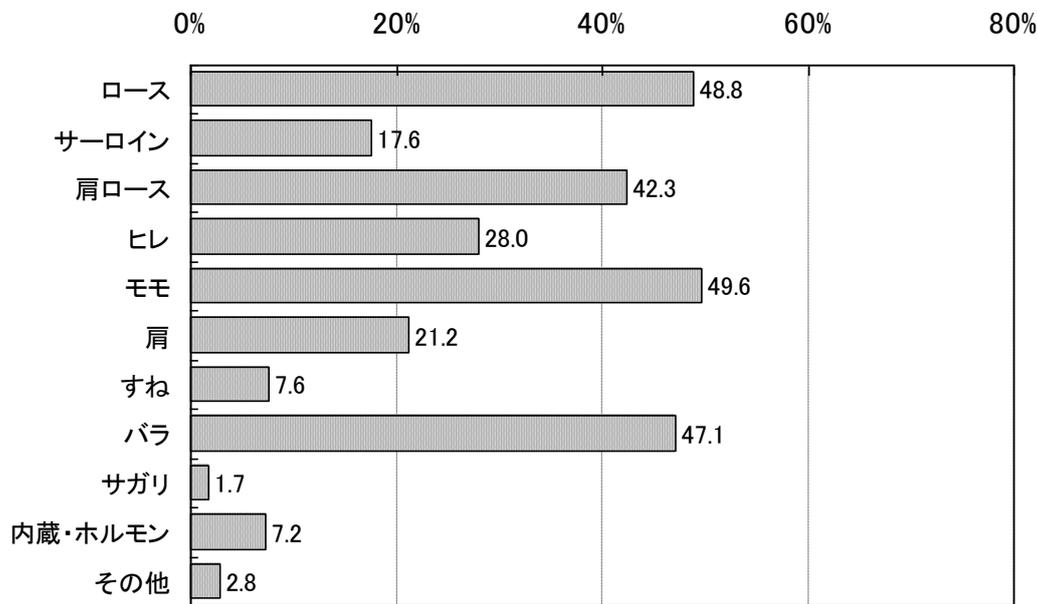


図17 日常的に購入する牛肉「部位」(割合)

N=2,152

表7 地域、年代別の普段購入する牛肉「部位」クロス表(度数)

|       | 購入有無 | 地域         |            | 年代         |            |            |            | 合計    |
|-------|------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|-------|
|       |      | 関東         | 関西         | 35歳以下      | 45歳以下      | 55歳以下      | 65歳以下      |       |
| ロース   | 無    | 520        | 582        | 251        | 291        | 260        | 300        | 1,102 |
|       | 有    | 525        | 525        | 254        | 250        | 282        | 264        | 1,050 |
| サーロイン | 無    | 835        | <b>939</b> | <b>437</b> | <b>460</b> | 429        | 448        | 1,774 |
|       | 有    | <b>210</b> | 168        | 68         | 81         | <b>113</b> | <b>116</b> | 378   |
| 肩ロース  | 無    | 585        | 656        | 302        | <b>338</b> | 287        | 314        | 1,241 |
|       | 有    | 460        | 451        | 203        | 203        | <b>255</b> | 250        | 911   |
| ヒレ    | 無    | 747        | 802        | <b>393</b> | <b>408</b> | 379        | 369        | 1,549 |
|       | 有    | 298        | 305        | 112        | 133        | 163        | <b>195</b> | 603   |
| モモ    | 無    | 524        | 560        | 248        | <b>303</b> | 262        | 271        | 1,084 |
|       | 有    | 521        | 547        | 257        | 238        | 280        | 293        | 1,068 |
| 肩     | 無    | 811        | 885        | 411        | 430        | 417        | 438        | 1,696 |
|       | 有    | 234        | 222        | 94         | 111        | 125        | 126        | 456   |
| バラ    | 無    | <b>615</b> | 523        | 271        | <b>311</b> | 288        | 268        | 1,138 |
|       | 有    | 430        | <b>584</b> | 234        | 230        | 254        | <b>296</b> | 1,014 |

\* 回答者の20%以上が購入している部位及び10%以上で地域間、年代間に有意差があった項目を示した。

\* 地域間、年代間でχ<sup>2</sup> 二乗検定、調整済み残差分析の結果、有意に大きいセルは網掛け太字ゴシック数字、有意に小さいセルは網掛け数字として示した。

(9) 普段(日常)購入する牛肉の価格帯

普段購入する牛肉の価格帯(円/100g)を100円単位で質問したところ、「国産牛」で300円台、「外国産牛」で100円台にピークがあり、「和牛」については明確なピークがなく500円台、1000円以上でやや高い傾向であった(図18)。年代間で「和牛」は35歳以下で100円台、45歳以下で100円台と200円台、55歳以下で500円台、65歳以下で600円台以上について有意な差が認められた。「国産牛」は35歳以下で100円台、45歳以下で200円台、65歳以下で300~600円台で高い傾向であった。また「外国産牛」は、35歳以下が100円未満、45歳以下が100円台、65歳以下が200~400円台でそれぞれ高い傾向であった(図19~21)。

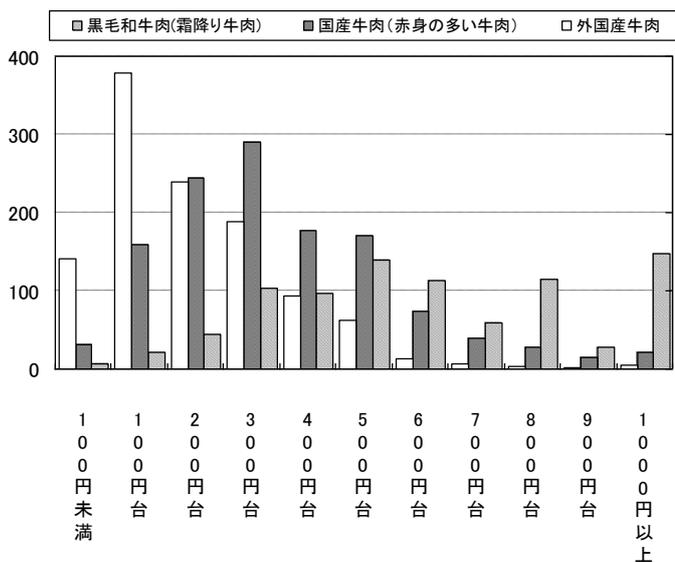


図18 普段購入する牛肉の価格帯(度数)

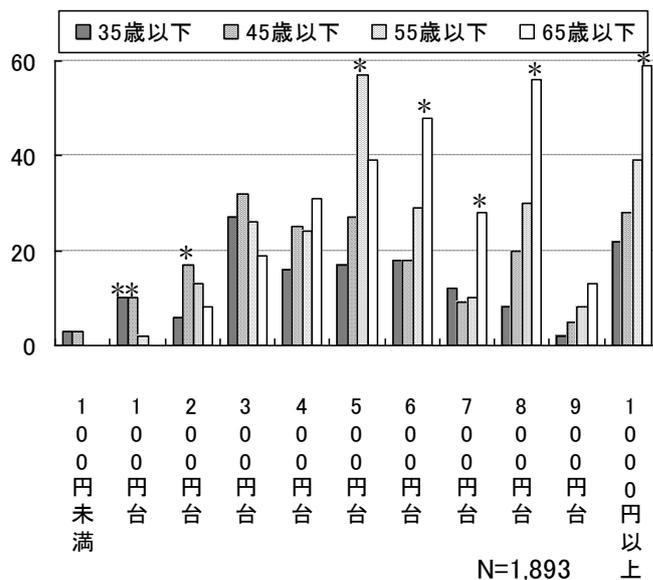


図19 黒毛和牛肉の年代別購入価格帯(度数)

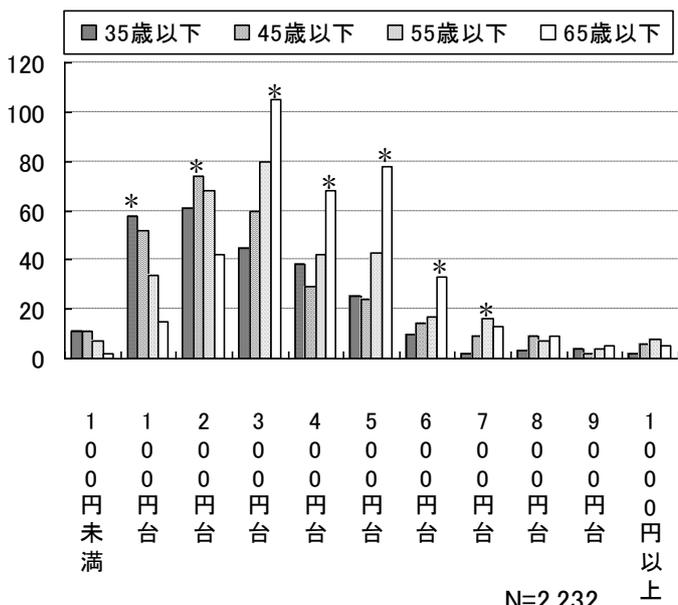


図20 国産牛肉の年代別購入価格帯(度数)

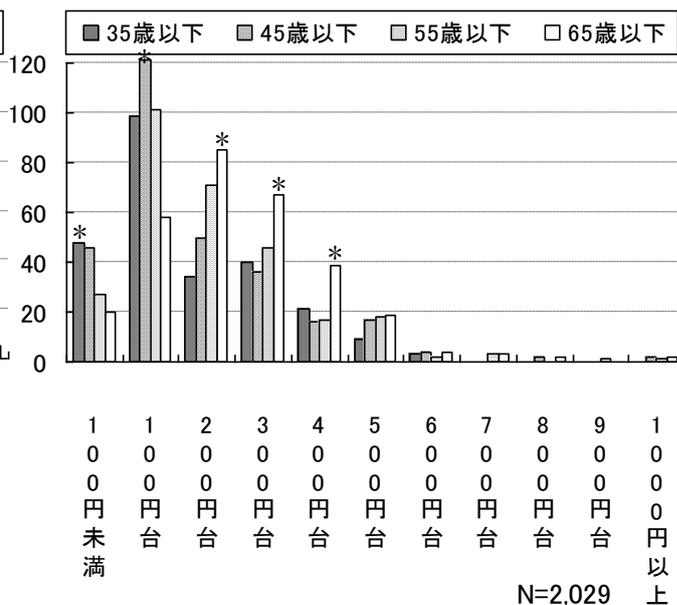


図21 外国産牛肉の年代別購入価格帯(度数)

\* 図19~21はχ<sup>2</sup> 二乗検定、調整済み残差分析の結果、価格帯別に年代間で有意に大きい度数に”\*”を付けた。

(10)牛肉購買時の重視度

牛肉購買時の重視度について「重視しない (+1)」から「重視する (+5)」の5段階評価による牛肉全体の平均で「やや重視する」「重視する」を合わせた割合が80%以上だった項目は「価格」「肉の色」であり、70%以上だった項目は「全体の脂身の量」「量が適当」「パック内の肉汁」「加工日」であった(図22)。また評価点で比較すると年代間では35歳以下で各牛肉の「価格」が重視されていた。また、地域間では関西で「国産牛」の「脂身の色」で重視度が有意に高く、関東では「国産牛」の「量が適当」、「外国産牛」の「価格」が有意に高かった(表8)。

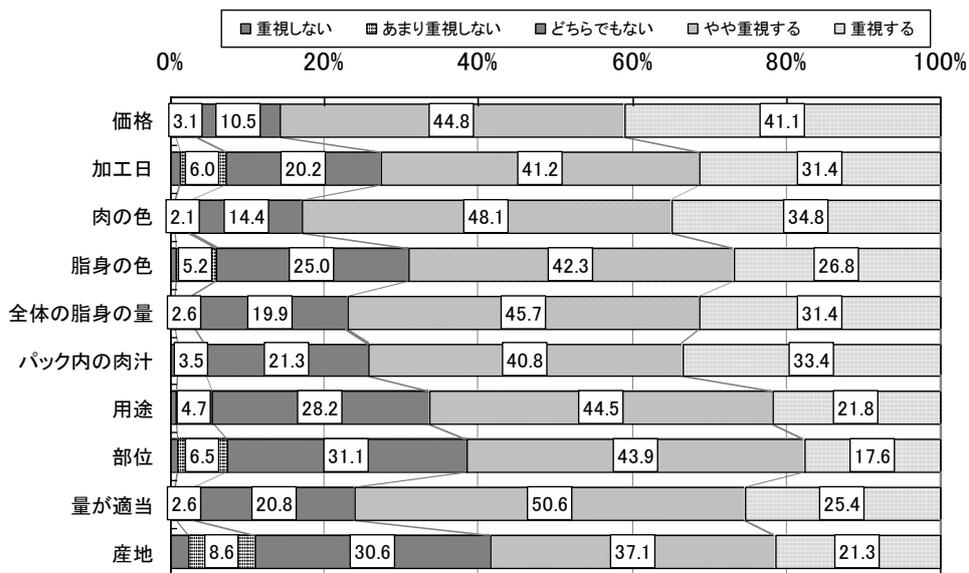


図22 牛肉購買時の重視(割合)

N=1,898

表8 牛肉購買時の地域、年代別の重視度(評価値)

|       | 地域      |                   | 年代                |                    |                    |                    |                    |
|-------|---------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
|       | 関東      | 関西                | 35歳以下             | 45歳以下              | 55歳以下              | 65歳以下              |                    |
| 黒毛和牛肉 | 価格      | 4.21              | 4.18              | 4.20 <sup>ab</sup> | 4.28 <sup>a</sup>  | 4.17 <sup>ab</sup> | 4.12 <sup>b</sup>  |
|       | 加工日     | 3.94              | 3.94              | 3.75 <sup>b</sup>  | 3.96 <sup>a</sup>  | 4.06 <sup>a</sup>  | 3.98 <sup>a</sup>  |
|       | 肉の色     | 4.14              | 4.20              | 4.10 <sup>b</sup>  | 4.24 <sup>a</sup>  | 4.20 <sup>ab</sup> | 4.15 <sup>ab</sup> |
|       | 脂身の色    | 3.91              | 3.95              | 3.79 <sup>b</sup>  | 3.99 <sup>a</sup>  | 3.98 <sup>a</sup>  | 3.97 <sup>a</sup>  |
|       | 全体の脂身の量 | 4.12              | 4.12              | 4.02 <sup>b</sup>  | 4.16 <sup>a</sup>  | 4.14 <sup>ab</sup> | 4.15 <sup>ab</sup> |
|       | パック内の肉汁 | 4.06              | 4.01              | 3.93 <sup>b</sup>  | 4.10 <sup>a</sup>  | 4.07 <sup>ab</sup> | 4.04 <sup>ab</sup> |
|       | 部位      | 3.79              | 3.73              | 3.65 <sup>b</sup>  | 3.74 <sup>ab</sup> | 3.85 <sup>a</sup>  | 3.78 <sup>ab</sup> |
|       | 価格      | 4.31              | 4.28              | 4.33 <sup>ab</sup> | 4.42 <sup>a</sup>  | 4.27 <sup>bc</sup> | 4.16 <sup>c</sup>  |
|       | 加工日     | 3.98              | 3.98              | 3.75 <sup>b</sup>  | 4.07 <sup>a</sup>  | 4.10 <sup>a</sup>  | 3.99 <sup>a</sup>  |
|       | 肉の色     | 4.15              | 4.19              | 4.08 <sup>b</sup>  | 4.25 <sup>a</sup>  | 4.19 <sup>ab</sup> | 4.15 <sup>ab</sup> |
| 国産牛肉  | 脂身の色    | 3.84 <sup>b</sup> | 3.93 <sup>a</sup> | 3.77 <sup>b</sup>  | 3.92 <sup>a</sup>  | 3.94 <sup>a</sup>  | 3.91 <sup>a</sup>  |
|       | 全体の脂身の量 | 4.06              | 4.04              | 3.96 <sup>b</sup>  | 4.09 <sup>a</sup>  | 4.08 <sup>ab</sup> | 4.07 <sup>ab</sup> |
|       | パック内の肉汁 | 4.06              | 4.02              | 3.93 <sup>b</sup>  | 4.12 <sup>a</sup>  | 4.07 <sup>a</sup>  | 4.03 <sup>ab</sup> |
|       | 部位      | 3.72              | 3.66              | 3.59 <sup>b</sup>  | 3.71 <sup>ab</sup> | 3.75 <sup>a</sup>  | 3.72 <sup>ab</sup> |
|       | 量が適当    | 4.03 <sup>a</sup> | 3.96 <sup>b</sup> | 3.96 <sup>b</sup>  | 4.08 <sup>a</sup>  | 3.99 <sup>ab</sup> | 3.95 <sup>b</sup>  |
|       | 価格      | 4.25 <sup>a</sup> | 4.15 <sup>b</sup> | 4.25 <sup>a</sup>  | 4.32 <sup>a</sup>  | 4.21 <sup>a</sup>  | 4.02 <sup>b</sup>  |
|       | 加工日     | 3.96              | 3.92              | 3.79 <sup>b</sup>  | 4.02 <sup>a</sup>  | 4.04 <sup>a</sup>  | 3.91 <sup>ab</sup> |
| 外国産牛肉 | 全体の脂身の量 | 4.01              | 3.93              | 3.88 <sup>b</sup>  | 4.02 <sup>a</sup>  | 3.98 <sup>ab</sup> | 4.00 <sup>ab</sup> |
|       | パック内の肉汁 | 4.03              | 3.95              | 3.90 <sup>b</sup>  | 4.06 <sup>a</sup>  | 4.03 <sup>ab</sup> | 3.98 <sup>ab</sup> |
|       | 部位      | 3.71              | 3.63              | 3.59 <sup>b</sup>  | 3.68 <sup>a</sup>  | 3.73 <sup>ab</sup> | 3.70 <sup>ab</sup> |
|       | 産地      | 3.71              | 3.68              | 3.62 <sup>b</sup>  | 3.66 <sup>a</sup>  | 3.72 <sup>ab</sup> | 3.79 <sup>ab</sup> |

\* 地域間、年代間の異符号間で有意差(p<0.05)、年代間は分散分析とTukeyの多重比較、地域間はU検定

N=1,898

### (11) 牛肉を食べる頻度

牛肉を食べる頻度について「2週間に1回ぐらい」以上を合わせた割合は、「和牛」14%、「国産牛」45%、「外国産牛」41%であった。逆に「全く食べない」「ほとんど食べない」を合わせた割合は、「和牛」63%、「国産牛」27%、「外国産牛」37%であった(図23)。食べる頻度を「月に1回ぐらい」を1point、「2週間に1回ぐらい」2.1point、「週に1~2回」6.4point、「週に3~4回」15point、「ほぼ毎日」30point、「ほとんど食べない」0.3point、「全く食べない」0pointと数値化して比較すると、「和牛」は35歳以下で食べる頻度が有意に少なく、「国産牛」は45歳以下で有意に食べる頻度が少なかった。また地域間では関西で「和牛」「国産牛」が有意に多く食べられていた(表9)。

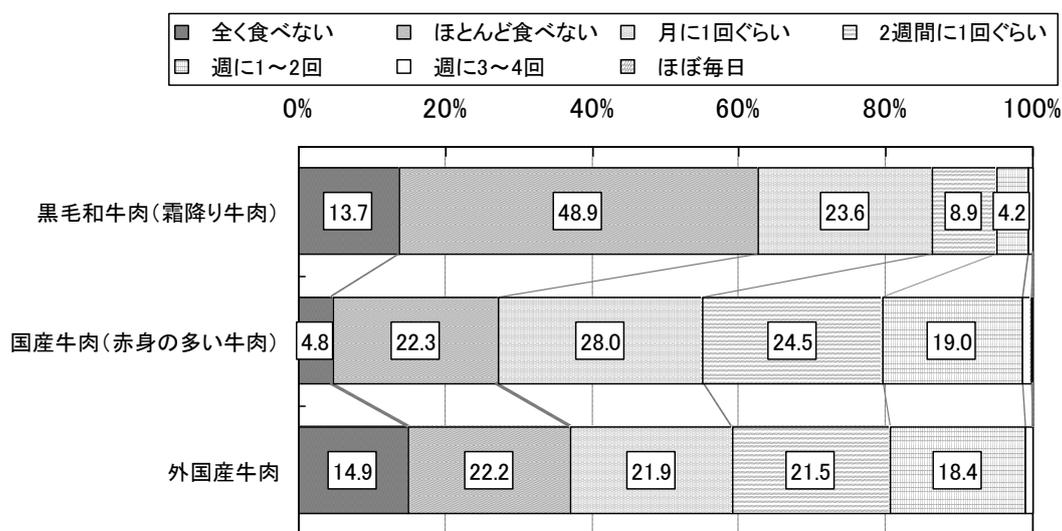


図23 牛肉を食べる頻度(割合) N=2,496

表9 地域、年代別の牛肉を食べる頻度(point)

|               | 地 域               |                   | 年 代                |                    |                    |                   |
|---------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
|               | 関東                | 関西                | 35歳以下              | 45歳以下              | 55歳以下              | 65歳以下             |
| 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.71 <sup>b</sup> | 0.94 <sup>a</sup> | 0.66 <sup>b</sup>  | 0.76 <sup>ab</sup> | 0.92 <sup>ab</sup> | 0.97 <sup>a</sup> |
| 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 1.87 <sup>b</sup> | 2.66 <sup>a</sup> | 2.10 <sup>ab</sup> | 2.07 <sup>b</sup>  | 2.37 <sup>ab</sup> | 2.51 <sup>a</sup> |
| 外国産牛肉         | 1.99              | 2.09              | 2.02               | 2.05               | 2.13               | 1.96              |

\* 地域間、年代間の異符号間で有意差(p<0.05)、年代間は分散分析とTukeyの多重比較、地域間はU検定

N=2,496

(12)家庭内で食べる牛肉の割合(対外食比)

家庭内で食べる牛肉の割合では、6割以上を家庭内で消費している割合は「和牛」41%、「国産牛」53%、「外国産牛」50%であった。このことから「和牛」では半数以上が外食で「和牛」を消費していた(図24)。年代間では、35歳以下が「和牛」「国産牛」「外国産牛」とも家庭で食べる割合が65歳以下より有意に低く、また地域間では、関西で「和牛」「国産牛」の家庭内で食べる割合が多かった(表10)。

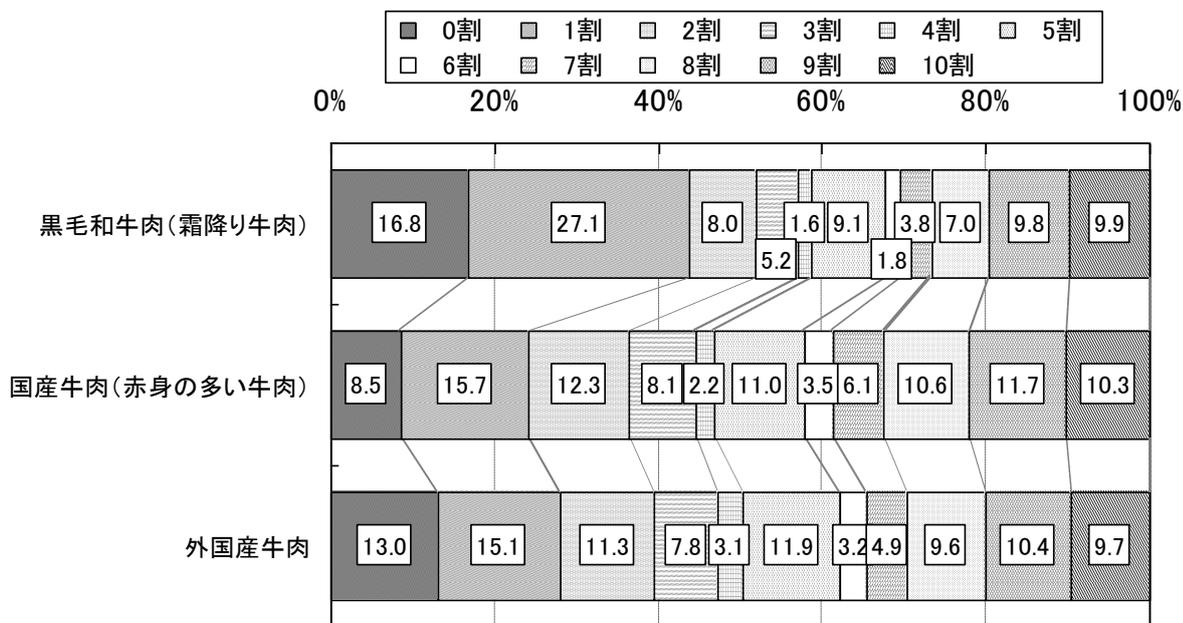


図24 家庭内で食べる牛肉の割合(対外食比) N=2,496

表10 家庭内で食べる牛肉の割合%(対外食比)

|               | 地 域               |                   | 年 代               |                    |                    |                   |
|---------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
|               | 関東                | 関西                | 35歳以下             | 45歳以下              | 55歳以下              | 65歳以下             |
| 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 34.9 <sup>b</sup> | 40.2 <sup>a</sup> | 27.5 <sup>d</sup> | 34.8 <sup>c</sup>  | 40.5 <sup>b</sup>  | 47.8 <sup>a</sup> |
| 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 44.6 <sup>b</sup> | 50.4 <sup>a</sup> | 38.8 <sup>c</sup> | 44.7 <sup>b</sup>  | 49.8 <sup>b</sup>  | 56.9 <sup>a</sup> |
| 外国産牛肉         | 39.7              | 36.9              | 34.6 <sup>b</sup> | 37.7 <sup>ab</sup> | 40.0 <sup>ab</sup> | 40.8 <sup>a</sup> |

\* 地域間、年代間の異符号間で有意差(p<0.05)、年代間は分散分析とTukeyの多重比較、地域間はU検定

N=2,496

(13) 外食で牛肉を食べる主なお店

外食で牛肉を食べる主なお店について、「和牛」「国産牛」は「焼肉屋」で、「外国産牛」は「ファミリーレストラン」で主に食べられていた（図 25）。年代間では35歳以下で「和牛」「国産牛」「外国産牛」とも「焼肉屋」でより多く食べられ、また地域間では、関西で「和牛」「国産牛」が「焼肉屋」で多く食べられ、関東では「国産牛」「外国産牛」が「ファミリーレストラン」で多く食べられていた（表 11）。

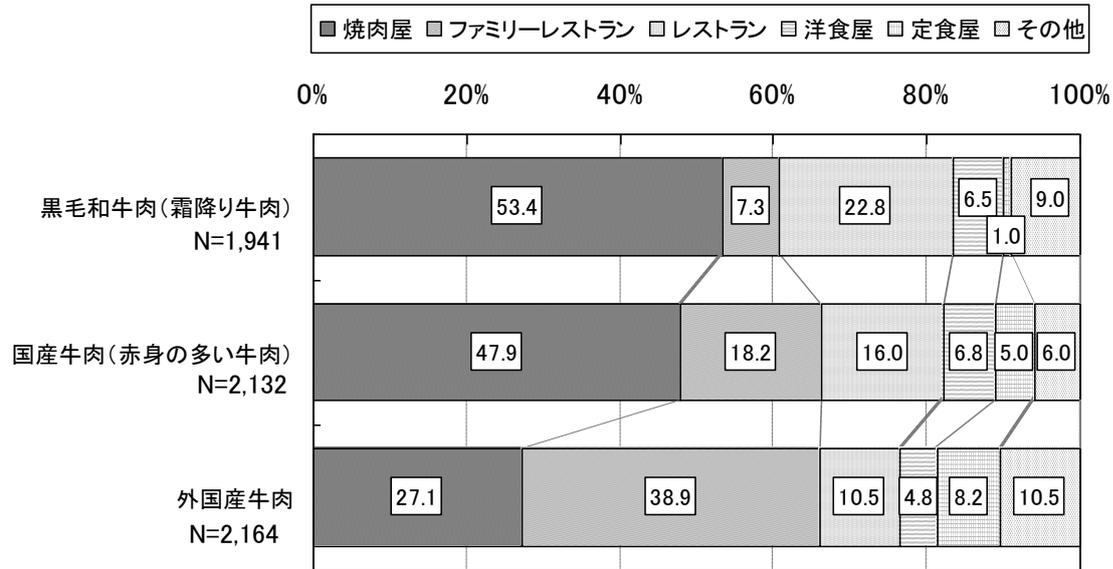


図 25 牛肉を外食で食べる主なお店

表 11 地域、年代別の外食で牛肉を食べる主なお店のクロス表(度数)

|       | 利用         | 地域 |     | 年代    |       |       |       | 合計  |       |
|-------|------------|----|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
|       |            | 関東 | 関西  | 35歳以下 | 45歳以下 | 55歳以下 | 65歳以下 |     |       |
| 黒毛和牛  | 焼肉屋        | 無  | 489 | 416   | 172   | 170   | 244   | 319 | 905   |
|       |            | 有  | 460 | 576   | 314   | 306   | 253   | 163 | 1,036 |
|       | レストラン      | 無  | 711 | 788   | 412   | 415   | 374   | 298 | 1,499 |
|       |            | 有  | 238 | 204   | 74    | 61    | 123   | 184 | 442   |
| 国産牛肉  | 焼肉屋        | 無  | 575 | 535   | 228   | 255   | 307   | 320 | 1,110 |
|       |            | 有  | 484 | 538   | 336   | 287   | 220   | 179 | 1,022 |
|       | ファミリーレストラン | 無  | 846 | 897   | 486   | 450   | 414   | 393 | 1,743 |
|       |            | 有  | 213 | 176   | 78    | 92    | 113   | 106 | 389   |
|       | レストラン      | 無  | 874 | 917   | 499   | 476   | 435   | 381 | 1,791 |
|       |            | 有  | 185 | 156   | 65    | 66    | 92    | 118 | 341   |
| 外国産牛肉 | 焼肉屋        | 無  | 979 | 979   | 487   | 513   | 480   | 478 | 1,958 |
|       |            | 有  | 117 | 89    | 89    | 47    | 45    | 25  | 206   |
|       | ファミリーレストラン | 無  | 725 | 785   | 420   | 382   | 364   | 344 | 1,510 |
|       |            | 有  | 371 | 283   | 156   | 178   | 161   | 159 | 654   |
|       | レストラン      | 無  | 905 | 881   | 487   | 478   | 441   | 380 | 1,786 |
|       |            | 有  | 191 | 187   | 89    | 82    | 84    | 123 | 378   |

\* 利用している割合が10%以上でかつ地域間または年代間で有意差のあったお店のみ表示

\* 地域間、年代間でχ<sup>2</sup> 二乗検定、調整済み残差分析の結果、有意に大きいセルは網掛け太字ゴシック数字、有意に小さいセルは網掛け数字として示した。

(14) 牛肉を利用する場面(シーン)

牛肉を利用する場面について質問したところ、回答者の20%以上で利用されている場面は、「和牛」で「誕生日・記念日」「お正月」「家族のリクエスト」と主に年中行事で利用され、「国産牛」「外国産牛」では「日常の食材」に集中していた(図26)。年代間では、35歳以下は「和牛」が「自分へのご褒美」「誕生日・記念日」「利用しない」、「国産牛」が「日常の食材」「休日」、「外国産牛」が「日常の食材」「バーベキューをする時」が多かった。また地域間では、関西で「国産牛」の「日常の食材」「バーベキューをする時」で利用する場面が多く、関東では「外国産牛」の「バーベキューをする時」が多かった(表12)。

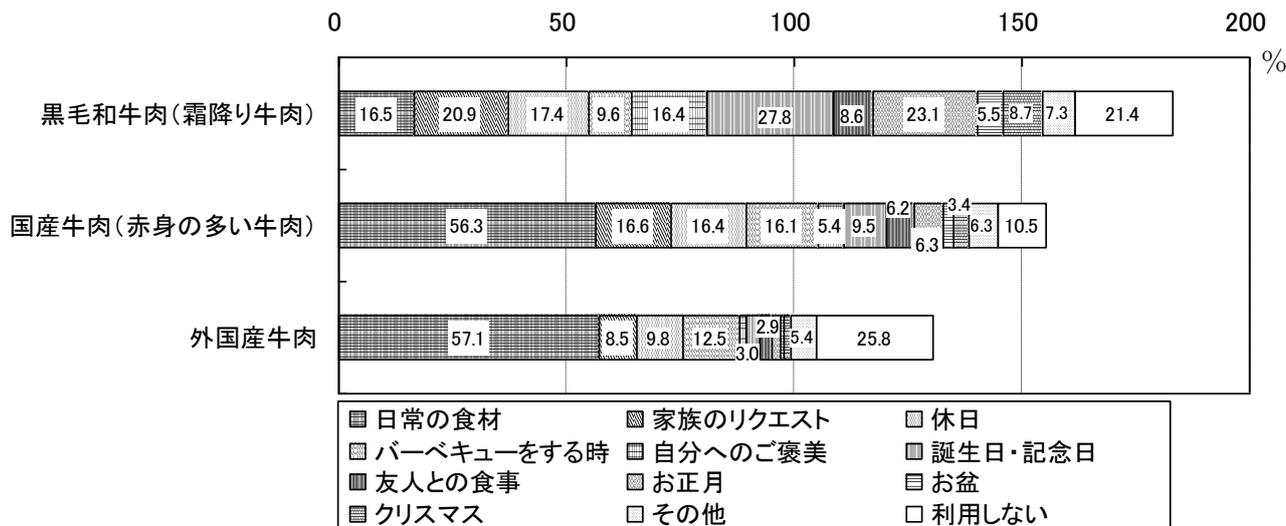


図26 牛肉を食べる場面(割合)

N=2,496

表12 地域、年代別の牛肉を食べる場面(度数)

|                       | と<br>し<br>て<br>な<br>い | 地 域 |     | 年 代       |           |           |           | 合 計 |       |
|-----------------------|-----------------------|-----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|-------|
|                       |                       | 関 東 | 関 西 | 35歳<br>以下 | 45歳<br>以下 | 55歳<br>以下 | 65歳<br>以下 |     |       |
| 黒<br>毛<br>和<br>牛<br>肉 | 日常の食材                 | 有   | 191 | 220       | 84        | 99        | 108       | 120 | 411   |
|                       | 家族のリクエスト              | 有   | 241 | 280       | 111       | 121       | 143       | 146 | 521   |
|                       | 自分へのご褒美               | 有   | 193 | 217       | 139       | 98        | 93        | 80  | 410   |
|                       | 誕生日・記念日               | 有   | 340 | 355       | 180       | 175       | 175       | 165 | 695   |
|                       | お正月                   | 有   | 237 | 339       | 117       | 118       | 146       | 195 | 576   |
|                       | 利用しない                 | 有   | 311 | 222       | 157       | 142       | 125       | 109 | 533   |
| 牛<br>国<br>産           | 日常の食材                 | 有   | 642 | 763       | 339       | 332       | 355       | 379 | 1,405 |
|                       | 休日                    | 有   | 214 | 196       | 121       | 110       | 98        | 81  | 410   |
|                       | バーベキューをする時            | 有   | 173 | 230       | 112       | 120       | 83        | 88  | 403   |
| 牛<br>外<br>国<br>産      | 日常の食材                 | 有   | 733 | 692       | 378       | 353       | 363       | 331 | 1,425 |
|                       | 休日                    | 有   | 162 | 82        | 84        | 83        | 45        | 32  | 244   |
|                       | バーベキューをする時            | 有   | 177 | 135       | 99        | 88        | 58        | 67  | 312   |
|                       | 利用しない                 | 有   | 271 | 373       | 141       | 156       | 165       | 182 | 644   |

\* 回答者の20%以上が「有」を選択した項目または10%以上で地域間、年代間に有意差があった項目を示した。

\* 地域間、年代間でχ<sup>2</sup> 二乗検定、調整済み残差分析の結果、有意に大きいセルは網掛け太字ゴシック数字、有意に小さいセルは網掛け数字として示した。

N=2,496

(15) 牛肉を使って料理する頻度について

「焼き肉」「すき焼」「ステーキ」「肉じゃが」「カレー」「シチュー」「丼物」「炒め物」の各料理の牛肉を利用する頻度についての質問では、回答者の25%以上が「月に1回程度」以上利用する牛肉と料理の組合せは、「国産牛」「外国産牛」で「焼き肉」「肉じゃが」「カレー」「炒め物」が利用されていた。また、回答者の75%以上が「このお肉を使って作らない」組合せは、「和牛」での「カレー」「シチュー」「丼物」であった(図27)。年代間では、ほとんどの料理で65歳以下で利用頻度が高く、35歳以下で利用頻度が低かった。また地域間では、関西で全ての料理で牛肉の利用する頻度が多かった(表13)。

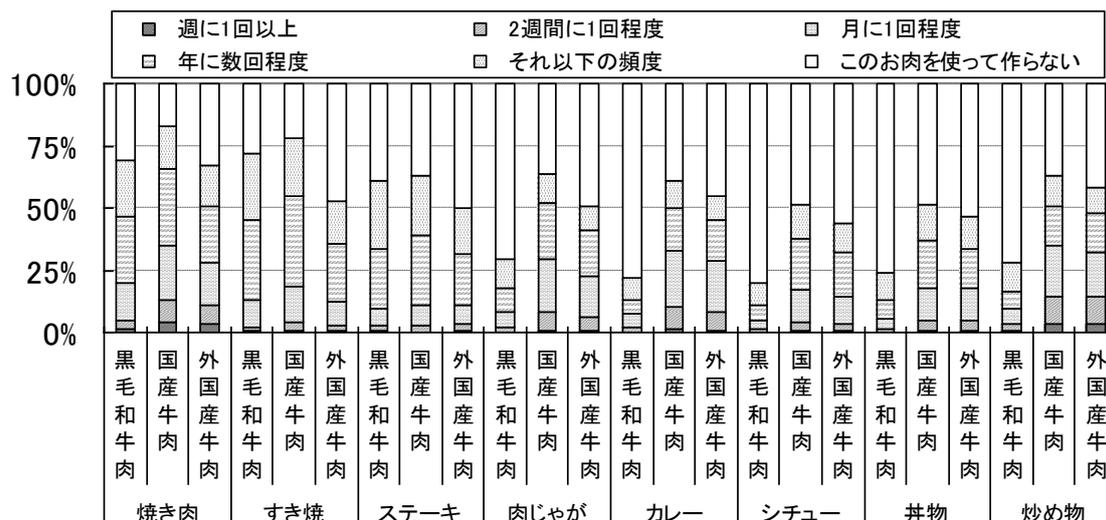


図 27 各料理で牛肉を利用する頻度(割合)

N=2,227

表 13 牛肉で作る料理の頻度(point)

|      |               | 地 域               |                   | 年 代                |                    |                    |                   |
|------|---------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
|      |               | 関東                | 関西                | 35歳以下              | 45歳以下              | 55歳以下              | 65歳以下             |
| 焼き肉  | 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.33 <sup>b</sup> | 0.45 <sup>a</sup> | 0.33 <sup>b</sup>  | 0.35 <sup>b</sup>  | 0.43 <sup>ab</sup> | 0.45 <sup>a</sup> |
|      | 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 0.59 <sup>b</sup> | 0.81 <sup>a</sup> | 0.60 <sup>b</sup>  | 0.59 <sup>b</sup>  | 0.70 <sup>b</sup>  | 0.91 <sup>a</sup> |
|      | 外国産牛肉         | 0.60 <sup>a</sup> | 0.57 <sup>b</sup> | 0.50 <sup>b</sup>  | 0.53 <sup>b</sup>  | 0.61 <sup>ab</sup> | 0.69 <sup>a</sup> |
| すき焼  | 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.25 <sup>b</sup> | 0.34 <sup>a</sup> | 0.23 <sup>b</sup>  | 0.25 <sup>b</sup>  | 0.30 <sup>b</sup>  | 0.41 <sup>a</sup> |
|      | 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 0.33 <sup>b</sup> | 0.44 <sup>a</sup> | 0.33 <sup>b</sup>  | 0.32 <sup>b</sup>  | 0.36 <sup>b</sup>  | 0.54 <sup>a</sup> |
|      | 外国産牛肉         | 0.28 <sup>a</sup> | 0.25 <sup>b</sup> | 0.25 <sup>b</sup>  | 0.22 <sup>b</sup>  | 0.24 <sup>b</sup>  | 0.36 <sup>a</sup> |
| ステーキ | 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.21 <sup>b</sup> | 0.27 <sup>a</sup> | 0.21 <sup>b</sup>  | 0.17 <sup>b</sup>  | 0.29 <sup>a</sup>  | 0.28 <sup>a</sup> |
|      | 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 0.24 <sup>b</sup> | 0.29 <sup>a</sup> | 0.24 <sup>bc</sup> | 0.21 <sup>c</sup>  | 0.29 <sup>ab</sup> | 0.32 <sup>a</sup> |
|      | 外国産牛肉         | 0.25 <sup>a</sup> | 0.24 <sup>b</sup> | 0.21               | 0.22               | 0.28               | 0.26              |
| 肉じゃが | 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.12 <sup>b</sup> | 0.20 <sup>a</sup> | 0.12 <sup>b</sup>  | 0.13 <sup>ab</sup> | 0.19 <sup>ab</sup> | 0.20 <sup>a</sup> |
|      | 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 0.35 <sup>b</sup> | 0.64 <sup>a</sup> | 0.40 <sup>b</sup>  | 0.41 <sup>b</sup>  | 0.51 <sup>b</sup>  | 0.66 <sup>a</sup> |
|      | 外国産牛肉         | 0.34 <sup>b</sup> | 0.42 <sup>a</sup> | 0.32 <sup>b</sup>  | 0.34 <sup>b</sup>  | 0.40 <sup>ab</sup> | 0.45 <sup>a</sup> |
| カレー  | 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.10 <sup>b</sup> | 0.16 <sup>a</sup> | 0.11               | 0.14               | 0.15               | 0.13              |
|      | 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 0.33 <sup>b</sup> | 0.73 <sup>a</sup> | 0.46 <sup>b</sup>  | 0.47 <sup>b</sup>  | 0.54 <sup>ab</sup> | 0.65 <sup>a</sup> |
|      | 外国産牛肉         | 0.39 <sup>b</sup> | 0.54 <sup>a</sup> | 0.41               | 0.45               | 0.50               | 0.51              |
| シチュー | 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.08              | 0.10              | 0.08               | 0.08               | 0.10               | 0.11              |
|      | 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 0.25 <sup>b</sup> | 0.37 <sup>a</sup> | 0.25 <sup>bc</sup> | 0.21 <sup>c</sup>  | 0.33 <sup>b</sup>  | 0.43 <sup>a</sup> |
|      | 外国産牛肉         | 0.26              | 0.26              | 0.24 <sup>ab</sup> | 0.20 <sup>b</sup>  | 0.27 <sup>ab</sup> | 0.32 <sup>a</sup> |
| 丼物   | 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.09              | 0.13              | 0.11               | 0.10               | 0.12               | 0.13              |
|      | 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 0.25 <sup>b</sup> | 0.39 <sup>a</sup> | 0.31 <sup>ab</sup> | 0.25 <sup>b</sup>  | 0.34 <sup>a</sup>  | 0.38 <sup>a</sup> |
|      | 外国産牛肉         | 0.30              | 0.32              | 0.36               | 0.29               | 0.30               | 0.30              |
| 炒め物  | 黒毛和牛肉(霜降り牛肉)  | 0.13 <sup>b</sup> | 0.23 <sup>a</sup> | 0.17               | 0.16               | 0.19               | 0.21              |
|      | 国産牛肉(赤身の多い牛肉) | 0.48 <sup>b</sup> | 0.83 <sup>a</sup> | 0.65 <sup>bc</sup> | 0.54 <sup>c</sup>  | 0.69 <sup>ab</sup> | 0.75 <sup>a</sup> |
|      | 外国産牛肉         | 0.59              | 0.64              | 0.66               | 0.55               | 0.67               | 0.58              |

N=2,227

\* 各設問で地域間、年代間の異符号間で有意差(p<0.05)、年代は分散分析と Tukey の多重比較、地域間は U 検定  
 「月に1回以上」を1point とし、「2週間に1回」2.1point、「週に1回以上」4.5point、「年に数回程度」0.3point、  
 「それ以下の頻度」0.1point、「このお肉を使って作らない」0point と数値化

(16) 牛肉を食べる理由

牛肉を食べる理由について、「和牛」では「贅沢な気分になれる」65%で最も多く、「味や風味が好き」40%、「脂肪の甘み」23%と続いた。「国産牛」では「味や風味が好き」27%、「価格が手頃」24%、「スタミナ源」23%。「外国産牛」では「価格が手頃」58%、「特に理由はない」23%であった。この結果から「和牛」は贅沢な食材であり、その味や風味を求めて時々食べたいと考えているようである。また「国産牛」には価格と味のバランスから購入されていると考えられた。「外国産牛」では価格の安さが重視され、風味に対する期待は少ないと考えられた(図28)。年代間で、35歳以下は「和牛」「国産牛」の「贅沢な気分になれる」が多く、「外国産牛」の「味や風味が好き」が35歳以下、45歳以下で多かった。また地域間では、関東で「国産牛」の「贅沢な気分になれる」、「外国産牛」の「味や風味が好き」が多く、関西では「国産牛」の「価格が手頃」「料理の種類が多い」「子供の頃からよく食べた」、「外国産牛」の「特に理由はない」が多かった(表14)。

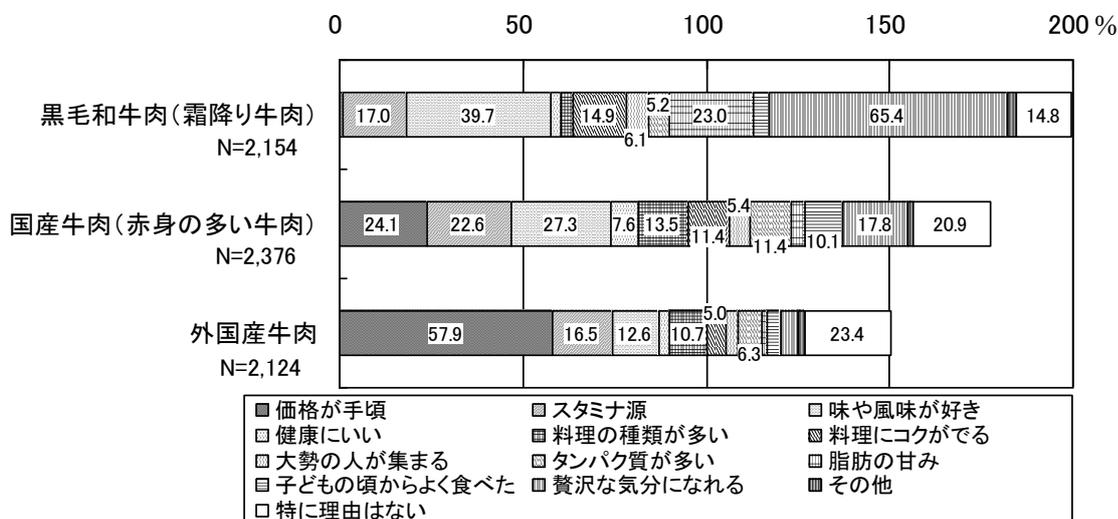


図28 牛肉を食べる理由(割合)

表14 牛肉を食べる理由(度数)

| 牛肉の種類 | 理由           | 地域 |            | 年代         |            |           |       | 合計         |       |
|-------|--------------|----|------------|------------|------------|-----------|-------|------------|-------|
|       |              | 関東 | 関西         | 35歳以下      | 45歳以下      | 55歳以下     | 65歳以下 |            |       |
| 黒毛和牛肉 | 脂肪の甘み        | 有  | 232        | 263        | 106        | 110       | 129   | <b>150</b> | 495   |
|       | 味や風味が好き      | 有  | 401        | 454        | 187        | 202       | 223   | 243        | 855   |
|       | 贅沢な気分になれる    | 有  | 686        | 723        | <b>362</b> | 347       | 363   | 337        | 1,409 |
| 国産牛肉  | 価格が手頃        | 有  | <b>236</b> | <b>337</b> | 132        | 125       | 145   | <b>171</b> | 573   |
|       | スタミナ源        | 有  | 254        | 284        | 131        | 137       | 138   | 132        | 538   |
|       | 味や風味が好き      | 有  | 333        | 316        | 174        | 169       | 162   | 144        | 649   |
|       | 料理の種類が多い     | 有  | 123        | <b>197</b> | 76         | 68        | 71    | <b>105</b> | 320   |
|       | タンパク質が多い     | 有  | 139        | 131        | 59         | <b>44</b> | 73    | <b>94</b>  | 270   |
|       | 子どもの頃からよく食べた | 有  | 95         | <b>144</b> | 70         | 57        | 52    | 60         | 239   |
|       | 贅沢な気分になれる    | 有  | <b>253</b> | 169        | <b>141</b> | 119       | 97    | 65         | 422   |
|       | 特に理由はない      | 有  | 253        | 243        | 118        | 136       | 136   | 106        | 496   |
| 外国産牛肉 | 価格が手頃        | 有  | 645        | 584        | 312        | 306       | 299   | <b>312</b> | 1,229 |
|       | 味や風味が好き      | 有  | <b>162</b> | 105        | <b>83</b>  | <b>81</b> | 62    | 41         | 267   |
|       | 特に理由はない      | 有  | 239        | <b>258</b> | 132        | 122       | 130   | 113        | 497   |

\* 回答者の20%以上が理由あげた項目または10%以上で地域間、年代間に有意差があった項目を示した。  
 \* 地域間、年代間でχ<sup>2</sup>乗検定、調整済み残差分析の結果、有意に大きいセルは網掛け太字ゴシック数字、有意に小さいセルは網掛け数字として示した。

(17)牛肉のおいしさ表現する言葉

牛肉のおいしさ表現する言葉について20%以上の回答者がイメージする言葉は、上位順に「和牛」の「脂ののった」「うま味がある」「ジューシー」他6項目、「国産牛」の「うま味がある」「あてはまる表現がない」、「外国産牛」の「あてはまる表現がない」であった。年代間では35歳以下で「和牛」の「脂ののった」「ジューシー」「うま味がある」が多く、地域間では、関西で「和牛」の「ジューシー」、「外国産牛」の「あてはまる表現がない」が多かった(表15)。

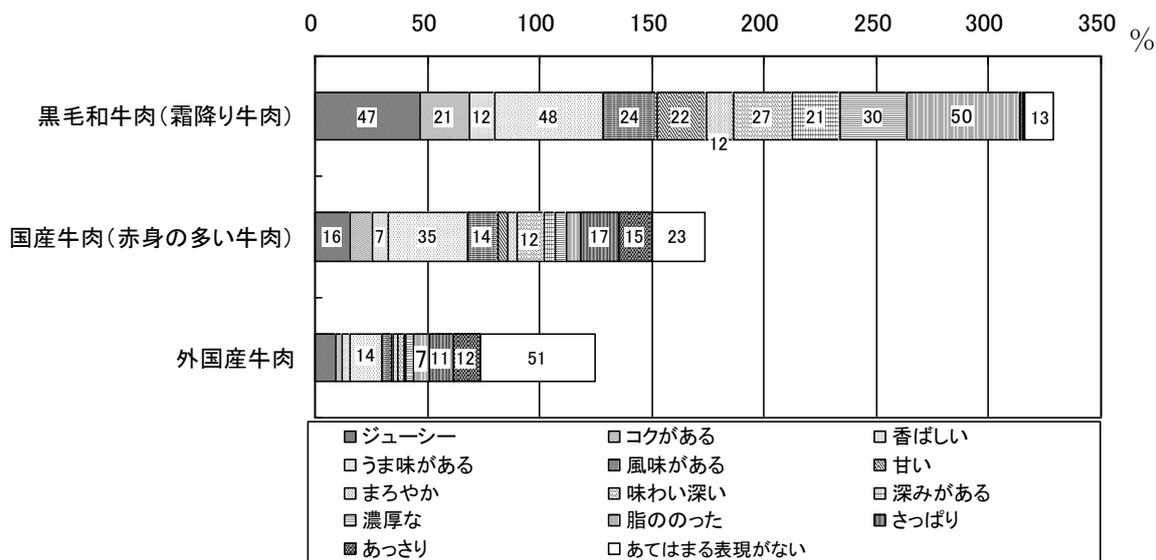


図 29 牛肉のおいしさ表現する言葉(割合)

N=2,496

表 15 牛肉のおいしさ表現する言葉(度数)

|       | 表現する言葉           | 地域 |     | 年代    |       |       |       | 合計  |       |
|-------|------------------|----|-----|-------|-------|-------|-------|-----|-------|
|       |                  | 関東 | 関西  | 35歳以下 | 45歳以下 | 55歳以下 | 65歳以下 |     |       |
| 黒毛和牛肉 | ジューシー            | 有  | 559 | 615   | 335   | 297   | 266   | 276 | 1,174 |
|       | コクがある            | 有  | 253 | 280   | 120   | 118   | 144   | 151 | 533   |
|       | まろやか             | 有  | 147 | 139   | 71    | 59    | 69    | 87  | 286   |
|       | うま味がある           | 有  | 601 | 599   | 303   | 281   | 296   | 320 | 1,200 |
|       | 風味がある            | 有  | 299 | 310   | 144   | 146   | 161   | 158 | 609   |
|       | 甘い               | 有  | 262 | 289   | 142   | 147   | 139   | 123 | 551   |
|       | 味わい深い            | 有  | 319 | 343   | 150   | 155   | 181   | 176 | 662   |
|       | 深みのある            | 有  | 261 | 270   | 130   | 135   | 126   | 140 | 531   |
|       | 濃厚な              | 有  | 363 | 386   | 200   | 194   | 175   | 180 | 749   |
|       | 脂ののった            | 有  | 627 | 622   | 340   | 331   | 299   | 279 | 1,249 |
| 国産牛肉  | ジューシー            | 有  | 199 | 198   | 152   | 104   | 77    | 64  | 397   |
|       | うま味がある           | 有  | 449 | 426   | 228   | 213   | 211   | 223 | 875   |
|       | 風味がある            | 有  | 179 | 170   | 80    | 81    | 85    | 103 | 349   |
|       | さっぱり             | 有  | 225 | 189   | 94    | 95    | 89    | 136 | 414   |
|       | あつさり             | 有  | 167 | 214   | 75    | 96    | 93    | 117 | 381   |
|       | あてはまる表現がない・わからない | 有  | 281 | 292   | 139   | 153   | 174   | 107 | 573   |
| 外国産牛肉 | うま味がある           | 有  | 210 | 140   | 99    | 91    | 87    | 73  | 350   |
|       | さっぱり             | 有  | 154 | 113   | 56    | 62    | 60    | 89  | 267   |
|       | あつさり             | 有  | 145 | 158   | 55    | 82    | 74    | 92  | 303   |
|       | あてはまる表現がない・わからない | 有  | 555 | 713   | 284   | 316   | 341   | 327 | 1,268 |

\* 回答者の20%以上が選択した項目または10%以上で地域間、年代間に有意差があった項目を示した。 N=2,496

\* 地域間、年代間でχ<sup>2</sup> 二乗検定、調整済み残差分析の結果、有意に大きいセルは網掛け太字ゴシック数字、有意に小さいセルは網掛け数字として示した。

## (18) 結果の分析と考察

### 1) 地域、年代と各牛肉との関連性

ここまで、アンケートの設定について結果と考察を加えながら、「和牛」「国産牛」「外国産牛」のイメージ、購買行動、消費行動の違いを示してきたが、「和牛」「国産牛」「外国産牛」の消費行動と地域や年代との関連性を明確にするため、牛肉の利用場面と牛肉を食べる理由の選択項目を地域（関東、関西）と年代（35歳以下、45歳以下、55歳以下、65歳以下）を組み合わせた8区分とのクロス集計から相関分析を行い、相関分析の得点をもとに2次元グラフ化して示した（図29～31）。

地域全体では、グラフ右上方向に関東、左下方向に関西と地域毎にまとまりが認められた。35歳以下では関東と関西の地域間が近くに配置され、45歳以下、55歳以下と徐々に離れ、55歳以下では原点からほぼ対角線上に位置した。地域間では関西で「和牛」について35歳以下は「自分へのご褒美」「バーベキュー（以下BBQと省略）をする時」「スタミナ源」、45歳以下は「価格が手頃」、55歳以下は「大勢の人が集まる」、65歳以下は「正月」「料理にコクがでる」など行事や料理と関連性が高かった。一方、関東では55歳以下が「クリスマス」、65歳以下が「健康にいい」、45歳以下は「利用しない」に近く、「和牛」の美味しさに結びつきが非常に限定的であった。

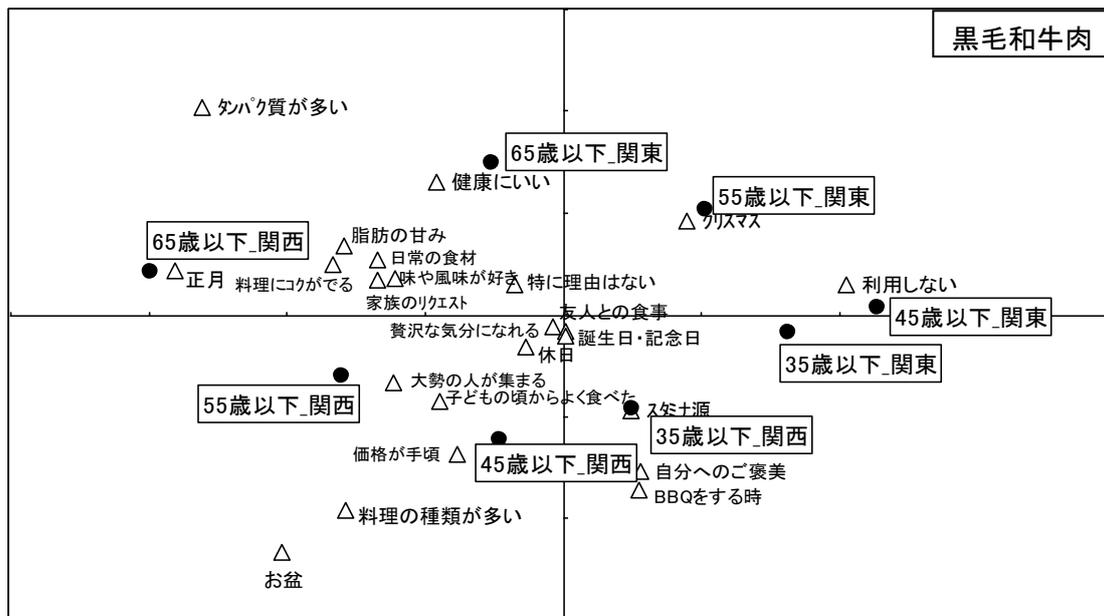


図 29 年代、地域と黒毛和牛肉の利用場面と食べる理由(相関分析の得点よりグラフ化)

「国産牛」について関東では35歳以下、45歳以下で「友人との食事」「自分へのご褒美」、45歳以下、55歳以下で「誕生日・記念日」「利用しない」で関連性が高く、65歳以下では「料理にコクがでる」で関連性が高かった。また35歳以下の関東と関西で「休日」と関連性が高かった。関西では45歳以下で「バーベキューをする時」「大勢の人が集まる」、45歳以下と55歳以下で「子供の頃からよく食べた」、55歳以下で「日常の食材」と関連性が高かった。関西55歳以下と65歳以下の間には「価格が手頃」「料理の種類が多い」であった。以上の点から関東では「国産牛」に対して特別な日に食べる贅品であるのに対し、関西では昔から食べている日常の食材として認知されていると考えられた。

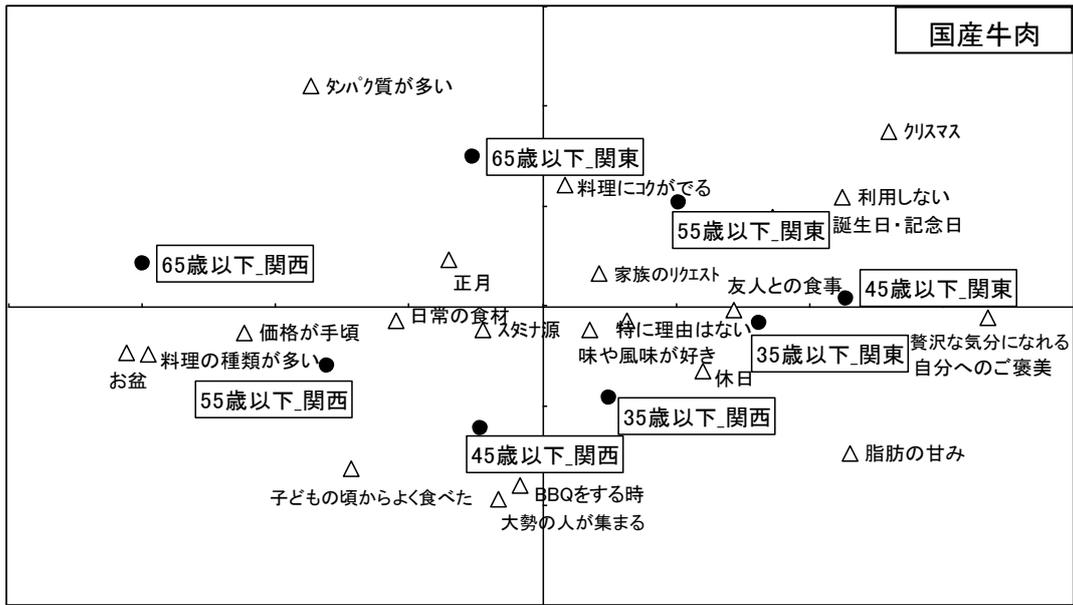


図 30 年代、地域と国産牛肉の利用場面と食べる理由(コレスポネンス分析の得点よりグラフ化)

「外国産牛」では、関西で55歳以下で「利用しない」、45歳、55歳で「料理の種類が多い」、35歳以下では「スタミナ源」との関連が多かった。関東では35歳、45歳以下で「バーベキューをする時」、「味や風味が好き」、45歳以下で「家族のリクエスト」「料理にコクがでる」と関連性が多く、利用場面や理由は関東で多く関西で少なかった。この結果から関東では「外国産牛」に対して利用する場面や理由があり、「和牛」や「国産牛」の代替品という位置づけではないと考えられた。一方、関西では「利用しない」という「外国産牛」に対して積極的に使わないという考え方をもっている層と逆に「料理の種類が多い」という積極的に利用する層に分かれていると考えられた。その中で35歳以下関西が、どの年代よりも関東に近く配置されたことは、牛肉の利用場面や理由が関東に近づいていることが示唆された。

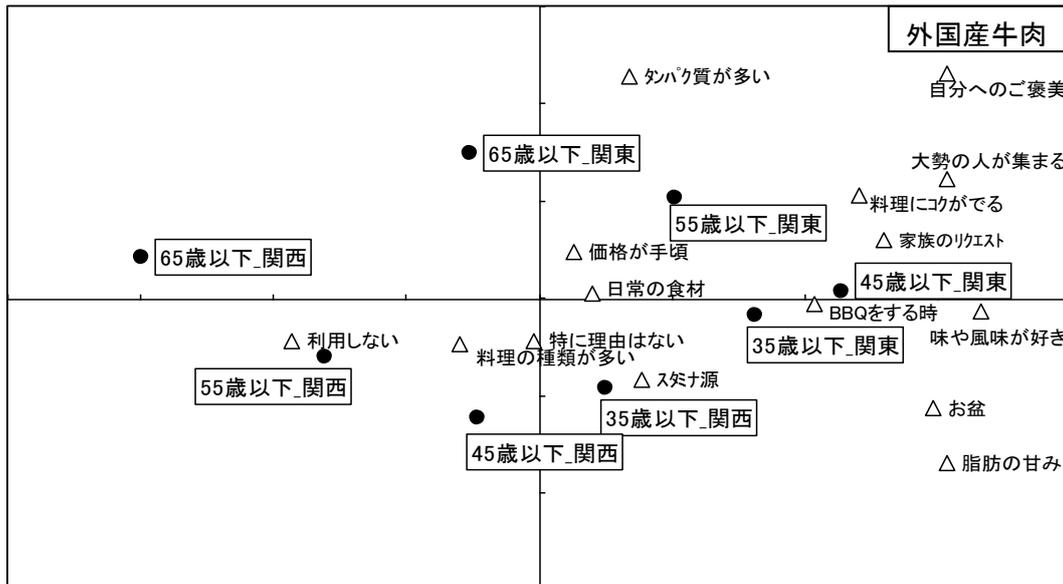


図 31 年代、地域と外国産牛肉の利用場面と食べる理由(コレスポネンス分析の得点よりグラフ化)

## 2) 年代による食ライフスタイルの違い

牛肉の消費行動の理由を知る上で、消費者がどのような考え方の背景から食品を購入、消費しているのかを知ることは重要である。そこで食全体に対する消費者のスタンス（以下、食ライフスタイルという）に関する54項目の設問について「あてはまる（=5）」から「あてはまらない（=1）」の5肢選択式で評価してもらい、その回答結果を用いて年代別に因子分析を行い、項目の共通点から年代別に考え方の背景となる潜在因子を抽出した。因子抽出法は最尤法を用い、因子軸の回転法は項目間の相関性を考慮してプロマックス回転とした（表16）。

表16 食ライフスタイルに関する設問項目

|  |                                    |
|--|------------------------------------|
| Q1.食料品の買い物が好きである                         | Q28.食品の無駄(古くなって捨てるなど)が出ないよう気をつけている |
| Q2.新しい食料品店ができたらずくに行くほうである                | Q29.和食をよく食べる                       |
| Q3.食料品の買い物にはあまり時間をかけたくない                 | Q30.朝食は必ずとる                        |
| Q4.同じ食料品店をよく利用するほうである                    | Q31.外食することが多い                      |
| Q5.価格の安い食料品店を利用するほうである                   | Q32.一人で食事をすることが多い                  |
| Q6.食品にはある程度お金をかけたいと思っている                 | Q33.自分で料理をすることが多い                  |
| Q7.農薬や添加物の使用が気になる                        | Q34.間食をよくする                        |
| Q8.食品の原産地が気になる                           | Q35.お酒をよく飲む                        |
| Q9.お買い得品・セール品をよく買うほうである                  | Q36.ケーキやスナック菓子をよく食べる               |
| Q10.食品の原産地や原材料、賞味(消費)期限などの表示をよく読むようにしている | Q37.夕食を遅い時間に食べることが多い               |
| Q11.食品は国産を利用するようにしている                    | Q38.中食や総菜をよく利用する                   |
| Q12.地場産の農畜産物を利用するようにしている                 | Q39.食費をきりつめている                     |
| Q13.糖分やカロリーの低い食品を選んでいる                   | Q40.食事に費やす時間が短い                    |
| Q14.美容によい食品を選んでいる                        | Q41.食後のデザートは欠かささない                 |
| Q15.料理を作ることが好きである                        | Q42.野菜をたくさん食べるようにしている              |
| Q16.料理をあまり作らない                           | Q43.果物をたくさん食べるようにしている              |
| Q17.食事のメニューを考えたり準備するのは面倒だと思う             | Q44.テレビや雑誌の「食の安全」についての情報に関心がある     |
| Q18.食事は「おいしい」ということが何よりも大切だと思う            | Q45.テレビや雑誌の「グルメ特集」に関心がある           |
| Q19.何を食べようかとあれこれ考えることは楽しいと思う             | Q46.テレビや雑誌の「健康」や「美容」についての情報に関心がある  |
| Q20.惣菜や冷凍食品を上手に使っていききたいと思っている            | Q47.料理のレパートリーを広げるために情報収集するようにしている  |
| Q21.料理のレパートリーは多いほうである                    | Q48.地域の郷土料理・食文化を知りたいと思う            |
| Q22.自分でオリジナルメニューを考案するほうである               | Q49.学校・家庭での子どもへの食教育に関心がある          |
| Q23.料理の彩りや盛りつけにも気を配るようにしている              | Q50.居住地周辺の田畑で何が作られているか興味がある        |
| Q24.下ごしらえ済みの食材を利用するほうである                 | Q51.ゴミ分別や生活排水など身近な環境問題に関心がある       |
| Q25.記念日やイベントのときは外食を利用するほうである             | Q52.週に2日以上定期的に運動を行なっている            |
| Q26.栄養のバランスには気をつけている                     | Q53.日頃の食生活に対して健康への不安を感じている         |
| Q27.健康にいいと言われる食材は積極的に使うようにしている           | Q54.健康に対する意識は高い方である                |

表17 因子分析により抽出された因子

年代別因子分析を行った結果「料理」「安全性」「地域環境」「節約」「健康」「栄養」の6つの因子が抽出された(表17～21)。各年代の第1因子は、35歳以下が「地域環境」であるのに対し、その他の年代では「料理」であり、以下「安全性」「地域環境」と各因子共通していた。一方、35歳以下は第2因子「安全性」、第3因子「栄養+健康」、第4因子「料理」であった。

この結果から35歳以下では「地域環境」を意識または関心が他の年代より高いが、「料理」への意識が低いことが示された。また45歳以下では「健

| 抽出された因子 | 項目                                       |
|---------|--|
| 料理因子    | Q15.料理を作ることが好きである                        |
|         | Q21.料理のレパートリーは多いほうである                    |
|         | Q22.自分でオリジナルメニューを考案するほうである               |
|         | Q23.料理の彩りや盛りつけにも気を配るようにしている              |
| 安全性因子   | Q7.農薬や添加物の使用が気になる                        |
|         | Q8.食品の原産地が気になる                           |
|         | Q10.食品の原産地や原材料、賞味(消費)期限などの表示をよく読むようにしている |
|         | Q11.食品は国産を利用するようにしている                    |
| 地域環境因子  | Q12.地場産の農畜産物を利用するようにしている                 |
|         | Q48.地域の郷土料理・食文化を知りたいと思う                  |
|         | Q49.学校・家庭での子どもへの食教育に関心がある                |
|         | Q50.居住地周辺の田畑で何が作られているか興味がある              |
|         | Q51.ゴミ分別や生活排水など身近な環境問題に関心がある             |
| 節約因子    | Q5.価格の安い食料品店を利用するほうである                   |
|         | Q9.お買い得品・セール品をよく買うほうである                  |
|         | Q39.食費をきりつめている                           |
| 健康因子    | Q27.健康にいいと言われる食材は積極的に使うようにしている           |
|         | Q52.週に2日以上定期的に運動を行なっている                  |
|         | Q54.健康に対する意識は高い方である                      |
| 栄養因子    | Q26.栄養のバランスには気をつけている                     |
|         | Q29.和食をよく食べる                             |
|         | Q42.野菜をたくさん食べるようにしている                    |

康」、55歳以下では「栄養」でどちらも健康でいたいという気持ちを起点として、体を意識した健康と栄養バランスのとれた食事により得られる健康として分かれたと考えられた。また、65歳以下は「節約」という意識の中で食品を選択するうえで重要な要素であることが示された。

表 18 35歳以下因子分析の結果

| 項目  | 因子負荷量       |             |             |             | 共通性<br>因子抽出後 |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
|     | 因子1         | 因子2         | 因子3         | 因子4         |              |
|     | 地域環境        | 安全性         | 栄養・健康       | 料理          |              |
| Q50 | <b>0.91</b> | 0.01        | -0.09       | 0.04        | 0.72         |
| Q49 | <b>0.85</b> | -0.03       | 0.08        | -0.06       | 0.61         |
| Q48 | <b>0.77</b> | -0.10       | 0.01        | 0.11        | 0.57         |
| Q51 | <b>0.55</b> | 0.16        | 0.13        | -0.03       | 0.48         |
| Q8  | -0.03       | <b>0.86</b> | 0.01        | -0.01       | 0.74         |
| Q7  | 0.06        | <b>0.75</b> | 0.16        | -0.01       | 0.68         |
| Q10 | -0.10       | <b>0.73</b> | 0.00        | 0.04        | 0.61         |
| Q11 | -0.01       | <b>0.58</b> | -0.09       | 0.00        | 0.61         |
| Q26 | -0.01       | 0.02        | <b>0.92</b> | 0.10        | 0.81         |
| Q27 | -0.07       | 0.08        | <b>0.68</b> | 0.14        | 0.72         |
| Q54 | 0.13        | 0.02        | <b>0.61</b> | 0.01        | 0.57         |
| Q42 | 0.11        | 0.00        | <b>0.54</b> | -0.15       | 0.50         |
| Q29 | -0.01       | 0.01        | <b>0.52</b> | -0.07       | 0.30         |
| Q22 | 0.04        | 0.08        | -0.11       | <b>0.80</b> | 0.64         |
| Q21 | 0.01        | -0.01       | 0.04        | <b>0.74</b> | 0.64         |
| Q23 | 0.01        | -0.04       | 0.21        | <b>0.53</b> | 0.51         |
| 固有値 | 21.6        | 5.3         | 5.6         | 4.3         |              |

表 19 45歳以下因子分析の結果

| 項目  | 因子負荷量       |             |             |             | 共通性<br>因子抽出後 |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
|     | 因子1         | 因子2         | 因子3         | 因子4         |              |
|     | 料理          | 安全性         | 地域環境        | 健康          |              |
| Q22 | <b>1.01</b> | 0.05        | -0.06       | 0.15        | 0.70         |
| Q21 | <b>0.96</b> | -0.05       | -0.02       | 0.10        | 0.76         |
| Q23 | <b>0.68</b> | -0.03       | 0.04        | 0.02        | 0.58         |
| Q15 | <b>0.54</b> | 0.03        | 0.04        | 0.04        | 0.63         |
| Q8  | -0.03       | <b>0.92</b> | 0.03        | -0.04       | 0.79         |
| Q7  | 0.03        | <b>0.83</b> | -0.02       | 0.11        | 0.71         |
| Q10 | 0.01        | <b>0.73</b> | 0.01        | -0.08       | 0.58         |
| Q11 | 0.05        | <b>0.60</b> | -0.07       | 0.21        | 0.55         |
| Q12 | -0.12       | <b>0.53</b> | 0.25        | -0.08       | 0.58         |
| Q50 | -0.01       | 0.02        | <b>0.86</b> | 0.01        | 0.73         |
| Q49 | 0.07        | 0.06        | <b>0.67</b> | 0.04        | 0.59         |
| Q48 | 0.06        | -0.02       | <b>0.67</b> | -0.12       | 0.64         |
| Q51 | -0.04       | 0.00        | <b>0.51</b> | 0.33        | 0.53         |
| Q54 | 0.08        | 0.03        | 0.01        | <b>0.68</b> | 0.61         |
| Q52 | 0.15        | -0.03       | -0.03       | <b>0.44</b> | 0.20         |
| 固有値 | 20.2        | 6.0         | 4.0         | 4.1         |              |

表 20 55歳以下因子分析の結果

| 項目  | 因子負荷量       |             |             |             | 共通性<br>因子抽出後 |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
|     | 因子1         | 因子2         | 因子3         | 因子4         |              |
|     | 料理          | 安全性         | 地域環境        | 栄養          |              |
| Q15 | <b>0.95</b> | 0.05        | -0.02       | -0.05       | 0.65         |
| Q21 | <b>0.91</b> | 0.01        | 0.03        | -0.05       | 0.73         |
| Q22 | <b>0.78</b> | 0.09        | 0.01        | 0.07        | 0.61         |
| Q23 | <b>0.74</b> | 0.03        | -0.07       | 0.03        | 0.72         |
| Q7  | 0.07        | <b>0.87</b> | -0.06       | 0.00        | 0.76         |
| Q8  | 0.00        | <b>0.76</b> | -0.02       | 0.13        | 0.69         |
| Q10 | -0.01       | <b>0.69</b> | 0.07        | -0.08       | 0.59         |
| Q11 | 0.01        | <b>0.51</b> | -0.02       | 0.15        | 0.54         |
| Q48 | 0.03        | 0.02        | <b>0.93</b> | 0.03        | 0.75         |
| Q49 | 0.14        | -0.06       | <b>0.75</b> | -0.09       | 0.65         |
| Q50 | -0.14       | 0.14        | <b>0.69</b> | 0.19        | 0.50         |
| Q51 | 0.05        | -0.11       | <b>0.64</b> | 0.06        | 0.57         |
| Q26 | 0.05        | 0.06        | 0.01        | <b>0.62</b> | 0.34         |
| Q29 | -0.02       | -0.02       | 0.04        | <b>0.61</b> | 0.44         |
| Q42 | 0.08        | 0.02        | 0.03        | <b>0.61</b> | 0.68         |
| 固有値 | 19.7        | 5.8         | 4.7         | 4.4         |              |

表 21 65歳以下因子分析の結果

| 項目  | 因子負荷量       |             |             |             | 共通性<br>因子抽出後 |
|-----|-------------|-------------|-------------|-------------|--------------|
|     | 因子1         | 因子2         | 因子3         | 因子4         |              |
|     | 料理          | 安全性         | 地域環境        | 節約          |              |
| Q22 | <b>0.92</b> | -0.01       | -0.03       | 0.14        | 0.72         |
| Q21 | <b>0.81</b> | 0.04        | -0.01       | 0.02        | 0.67         |
| Q23 | <b>0.68</b> | 0.02        | 0.11        | -0.04       | 0.64         |
| Q15 | <b>0.46</b> | -0.01       | 0.06        | -0.02       | 0.63         |
| Q8  | -0.03       | <b>0.81</b> | -0.02       | -0.07       | 0.67         |
| Q7  | 0.01        | <b>0.76</b> | -0.02       | -0.05       | 0.64         |
| Q11 | 0.07        | <b>0.74</b> | -0.01       | -0.11       | 0.60         |
| Q10 | -0.06       | <b>0.69</b> | -0.03       | 0.04        | 0.60         |
| Q12 | 0.09        | <b>0.52</b> | 0.14        | -0.01       | 0.59         |
| Q50 | 0.00        | 0.01        | <b>0.95</b> | -0.01       | 0.76         |
| Q49 | 0.02        | -0.02       | <b>0.82</b> | -0.02       | 0.64         |
| Q48 | 0.03        | -0.06       | <b>0.67</b> | 0.05        | 0.58         |
| Q5  | -0.04       | -0.19       | 0.02        | <b>0.76</b> | 0.67         |
| Q9  | 0.01        | 0.06        | 0.01        | <b>0.66</b> | 0.48         |
| Q39 | 0.11        | -0.03       | 0.02        | <b>0.60</b> | 0.39         |
| 固有値 | 18.4        | 4.9         | 4.4         | 4.1         |              |

## 4. 結論

本研究の主題である25～35歳の牛肉購買、消費の特徴を整理すると、牛肉に対するイメージは「和牛」を「食べ過ぎると胃腸の調子が気になる」と考え、「外国産牛」を「料理しやすい」と考えていた(表2)。また牛肉の購買頻度は他の年代より低く(表3)、普段購入する産地で「牛肉を自分では購入しない」の頻度が高かったことと一致する(表5)。そのため、購買時に重視する項目では「価格」だけが重視されたと考えられた(表8)。また消費行動でも同様な傾向が認められ、牛肉を食べる頻度や家庭内での牛肉を食べる割合も低かった(表9,10)。外食では「焼肉店」で「和牛」「国産牛」を食べる人が多く、レストランでは少なかった(表11)。牛肉を食べる場面では「和牛」を「自分へのご褒美」「誕生日・記念日」に利用し、「国産牛」「外国産牛」を「日常の食材」または「休日」「バーベキューをする時」に利用していた(表12)。その理由として「和牛」「国産牛」は「贅沢な気分になれる」「味や風味が好き」をあげ、「外国産牛」は「価格が手頃」をあげていた(表14)。そして「和牛」「国産牛」には「ジューシー」「うま味がある」をさらに「和牛」には「脂ののった」が美味しさを表す言葉として多かった(表15)。

このように日常的に利用する手頃な価格の「外国産牛」と「味や風味が好き」で「贅沢な気分になれる」特別な日に「焼肉屋」で食べる「和牛」「国産牛」という嗜好や購買行動の実態が明確になり、またコレスポンデンス分析の結果からこの世代の牛肉に対する考え方は関東、関西で差が少ないことが示された(図29～31)。

一方、地域間では消費、購買行動に特徴がみられ、関西では牛肉の購買頻度(表3)、普段購入する牛肉の産地(表5)や牛肉を食べる頻度から(表9)、牛肉消費に占める「国産牛」の割合が最も多いと考えられた。さらに「国産牛」の利用場面や理由として「料理のしやすさ」「日常的な食材」「おcaずにとすると子供が喜ぶ」「価格が手頃」「料理の種類が多い」「子供の頃からよく食べた」があげられ(表2、12、14)、「焼き肉」「カレー」「シチュー」「丼物」等の家庭料理の食材として牛肉が定着していた(表13)。関東では、普段購入する牛肉は「外国産牛」、購買産地に関して「外国産牛」または「国産・外国産は気にしない」という意見が多かった(表3、5)。また牛肉を食べる理由として「和牛」「国産牛」に対して「贅沢な気分になれる」であり、「外国産牛」に対して「価格が手頃」をあげており(表14)、日常食べる牛肉には産地へのこだわりが低く、価格が手頃な「外国産牛」を多く利用していることが推測された。

以上の結果から25～35歳や関東地域では牛肉購買頻度が低く、日常的な食材として価格が手頃な「外国産牛」を利用している。このような消費者に「外国産牛」から「和牛」「国産牛」へ消費をシフトしてもらうためには、消費者が「食」に対して求めている潜在的な因子(ニーズ)として抽出された「料理」「安全性」「地域環境」「健康・栄養」「節約」をキーワードとし、「料理」や「健康・栄養」と結びつけて適度な脂身、ジューシー、うま味等の要素を取り入れた「和牛」「国産牛」の新たな価値を提供していくことが重要であると考えられる。